

第6期第3回福岡市男女共同参画審議会（平成27年7月6日）

## 一般評価事業の実施状況及び評価

- 「業績目標」は、平成27年度までに達成すべき目標を記載している。
- 「事業実績と予算額」は、平成26年度の内容を記載するとともに、継続事業については、進捗状況を明らかにするため〈 〉で記載している。
- 男女共同推進センター・アミカスが実施する個別の男女共同参画講座・講演会については、該当する具体的施策の欄に記載し、「☆アミカス講座」と表記している。ただし、業績目標は、具体的施策3に一括して記載し、個別の講座・講演会には記載していない。



基本目標 1 男女平等意識が浸透した社会を目指します			頁
1 男女平等教育の推進	1	学校教育における男女平等教育の推進	1
	2	教育に携わる者への研修の充実	3
2 男女共同参画推進センターを中心とした啓発・学習の全市的展開	3	男女共同参画推進センターにおける取組の推進	4
	4	拠点施設としての支援の充実	5
	5	区役所、人権啓発センター、婦人会館、市民センターにおける取組の推進	6
	6	公民館における取組の推進	10
	7	男女共同参画に関する調査・研究	
	8	男女共同参画に関する広報と情報提供	12
3 市民等との連携・共働の推進	9	市民団体、NPO、自治協議会等との連携・共働	15
	10	大学との連携	20
	11	報道機関との連携	
4 国際理解・交流の推進	12	男女平等に関する国際理解の推進	21
	13	在住外国人女性への支援	
基本目標 2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します			頁
1 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護 (福岡市配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する基本計画)	14	配偶者等からの暴力防止に向けた意識啓発	23
	15	相談体制の充実	24
	16	保護体制の充実	25
	17	被害者の自立のための支援	26
	18	関係団体との連携	27
2 セクシュアル・ハラスメント等及び性犯罪の防止	19	セクシュアル・ハラスメント等の防止に向けた広報・啓発	
	20	市職員のセクシュアル・ハラスメントの防止	
	21	教育現場におけるセクシュアル・ハラスメントの防止	29
22	相談の充実		
3 生涯にわたる健康支援	23	性犯罪被害の防止及び犯罪被害者への支援	30
	24	青少年への意識啓発	
	25	母性機能の社会的重要性に関する認識の浸透	31
	26	出産前後の女性の健康管理の支援	32
	27	ライフステージに応じた心身の健康管理の支援	33
基本目標 3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します			頁
1 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	28	企業等への広報・啓発	35
	29	育児・介護休業制度に関する広報と情報提供	36
	30	仕事と生活の調和のとれた生き方の普及	37
	31	市役所における育児・介護休業中の男女への支援	
2 男性の家庭・地域への参画促進	32	男性への意識啓発	39
	33	男性の家庭生活や地域活動への参画促進	44
	34	生活的自立のための学習機会の提供	49
35	多様なニーズに対応した子育て支援の充実		
3 子育て・介護支援の充実	36	子育てしやすい環境づくり	52
	37	介護支援の充実	56
4 ひとり親家庭への支援の充実	38	相談の充実	57
	39	ひとり親家庭の自立促進と生活の安定	58
基本目標 4 政策・方針決定過程に男女が共に参画できる社会を目指します			頁
1 市の政策・方針決定過程への女性の参画促進	40	審議会等への女性の参画促進	59
	41	市役所における男女共同参画の推進	
2 あらゆる分野の意思決定過程への女性の参画促進	42	企業における女性の参画促進	63
	43	農林水産業の分野における女性の参画促進	
基本目標 5 働く場において男女が対等に参画できる社会を目指します			頁
1 男女の均等な機会と待遇確保	44	企業等への広報・啓発	64
	45	男女共同参画推進に取り組む企業の事例紹介	65
2 働く女性への支援	46	働く女性への労働に関する広報と情報提供	66
	47	働く女性の能力開発のための研修の実施	67
	48	働く女性の交流の場の提供	68
	49	相談の充実	
3 女性の就業支援	50	就業意識の啓発と職業能力の向上	69
	51	女性の起業支援	70
	52	再就職への支援	
基本目標 6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します			頁
1 地域における男女共同参画意識の浸透	53	地域の主体性を尊重した男女共同参画の推進	71
	54	自治協議会等を中心とした男女共同参画意識の浸透	76
2 地域における男女共同参画推進活動の支援	55	男女共同参画協議会等の活動支援	77
3 地域活動の方針決定過程への女性の参画促進	56	自治協議会等への女性役員の参画促進	83
	57	地域の女性リーダー育成と活躍支援	



# 基本目標 1 男女平等意識が浸透した社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	18	55	1	0

## 施策の方向 1 男女平等教育の推進

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 1 学校教育における男女平等教育の推進</b>				
小・中学生向け男女平等教育副読本	小中学生向け男女平等教育副読本の活用率の向上。 小学校 100% 中学校 50%	男女平等教育の副読本を作成し、市内の小・中学生に配付、教師用に「指導の手引」を作成し配付。  小学校:「はらっぱ」, 同「指導の手引」 ・小学校3,4年生対象(3年時に配付) ・部数 15,000<15,000> ・活用率 92.3%(96.6%) 中学校:「わたしらしく生きる」, 同「指導の手引」 ・中学校全学年対象(1年時に配付) ・部数 14,000<14,000> ・活用率 50.7%(39.1%)  予 算 額 26年度予算額 1,675千円 25年度予算額 <1,801千円>	B	市) 男女共同参画課 教) 学校指導課
中学生のためのキャリアデザイン啓発事業	子どもの頃から性別にとらわれない自己形成ができるよう男女平等教育を推進する。  平成25年度から27年度の3年間で全69校でセミナーを実施する。	大学・企業・地域・市が連携し、中学校へ講師を派遣し、男女共同参画の必要性や将来のキャリア形成への意識を高める出前セミナーを実施。  <実施校> 市立中学校23校 <19校> <セミナーの内容> ・男女共同参画の必要性について ・性別にとらわれず将来のキャリアデザインを描くことの大切さについて ・ロールモデルの紹介 ・専門分野・研究分野の説明・体験等  予 算 額 26年度予算額 639千円 25年度予算額 <873千円>	A	市) 男女共同参画課
男女平等の理念に立った教育課程の編成	男女平等の理念に立って教育課程を編成し、教科等の特質や児童生徒の発達段階に応じた男女平等教育を行う。	各学校において、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動等の特質や児童生徒の発達段階に応じて作成する教育指導計画に男女平等教育の視点を適切に位置付けている。  予 算 額 26年度予算額 - 25年度予算額 -	B	教) 学校指導課
職場体験学習	職場体験学習の実施率中学校100%の継続  生徒のニーズにあった受け入れ事業所の充実。	参加学校数及び生徒数:69校 12,098名 <69校 11,820名> 受け入れ事業所:3,465事業所 <3,388事業所>  予 算 額 26年度予算額 339千円 25年度予算額 <485千円>	A	教) 学校指導課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
家庭科教育の充実	男女が共に家族の一員として役割を果たし、家庭を築いていくことの重要性を認識し、生活に必要な知識・技能を習得させるため、家庭科教育の充実を図る。	<p>【小学校5・6年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○男女ともに、家族の一員として役割を果たすために、家庭生活を支える仕事の理解と仕事を分担し工夫することを学ばせた。</li> <li>○生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付けさせた。</li> </ul> <p>【中学生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家族を構成する男女が、家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくする方法を工夫することを学ばせた。</li> <li>○生活の自立に必要な基礎的な知識と技能を習得させた。</li> </ul>	B	教) 学校指導課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
育児の体験学習等		<p>【中学生】 技術・家庭科(家庭分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児と触れ合う活動を実施した。 全生徒対象。幼児と触れ合う直接的な体験を通して、幼児への関心を深め、幼児とのかかわり方を工夫する学習を行った。直接の体験ができない学校では、幼児への接し方を考えるロールプレイングやビデオで幼児の行動を観察したりする授業を行っている。</li> <li>○幼児の心身の発達の特徴と、幼児にふさわしい生活を整える家族の役割について学ばせた。</li> </ul>	B	教) 学校指導課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
学校生活全体にわたっての見直し	男女混合名簿の採用率 小学校100% 中学校50%	<p>学校生活全体にわたって以下の点について見直しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科や道徳の時間をはじめ、あらゆる教育活動を通して男女の相互理解や相互尊重といった望ましい人間関係の育成</li> <li>○学級での係分担や委員会活動、児童会・生徒会の役割分担見直し</li> <li>○男女平等教育副読本および指導の手引を活用した研修の実施</li> <li>○教職員の固定的性別役割分担意識の解消のための研修の実施</li> <li>○中学校の未採用校への聞き取りと、採用への指導を実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女混合名簿(出席簿等)の採用率 小学校:98.6%〈99.3%〉 中学校:52.2%〈56.5%〉</li> <li>・男女平等教育副読本活用率 小学校:92.3%〈96.6%〉 中学校:50.7%〈39.1%〉</li> </ul> </li> </ul>	C	教) 学校指導課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 2 教育に携わる者への研修の充実</b>				
男女平等教育研修会の実施	教職員の男女平等教育研修会の参加率 100%	<p>〈講演〉「ジェンダーの視点から 学校現場を見る」 講師：立命館大学女性ライフサイクル研究所 村本邦子</p> <p>〈実践発表〉副読本「わたしらしく生きる」の活用について 発表者：福岡市立小笹小学校 教諭：東 義隆 参加者：225人(97.4%) 〈226人〉</p>	A	教) 学校指導課 市) 男女共同参画課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>100千円</td> <td>〈100千円〉</td> </tr> </table>		
26年度予算額	25年度予算額			
100千円	〈100千円〉			
公民館長・公民館主事の研修	新任公民館職員研修及び7区の公民館運営研修等において、男女共同参画に係る研修を実施。	<p>公民館職員に対する男女共同参画に係る研修の実施 ア 新任公民館職員研修実績 26年度1回34人 〈25年度1回32人〉</p> <p>イ 公民館運営研修実績 東区, 博多区, 早良区 各1回, 計148人 〈東区, 博多区各1回, 計99人〉</p>	B	市) 公民館調整課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>60千円</td> <td>〈67千円〉</td> </tr> </table>		
26年度予算額	25年度予算額			
60千円	〈67千円〉			
保育所職員への研修	年に1～2回男女共同参画の研修を位置づける。	<p>研修実施 対象：保育所保育士(主任・中堅) 内容：男女協同参画の視点で子どもの可能性を開こう</p> <p>講師：NPO法人福岡ジェンダー研究所 理事・研究員 倉富 史枝 氏 参加者：18人</p> <p>〈25年度 対象：保育士(主任・中堅) 参加者：20人〉</p>	B	こ) 監査指導課 ※26年度は、 保育所指導課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		
26年度予算額	25年度予算額			
-	-			
教頭2年次研修	研修受講満足度を、平成27年度までに、90%とする。	<p>テーマ：「男女共同参画社会の実現と教頭の役割 ～学校における男女平等教育の進め方～」 講師： 市民局男女共同参画課長 佐伯 正子 参加者数：2年次教頭 48人 〈33人〉 研修評価：受講者満足度 79%</p>	B	教委) 教育センター研修・研究課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		
26年度予算額	25年度予算額			
-	-			
社会教育関係職員研修会	社会教育関係職員を対象に人権教育研修会を実施することで、男女共同参画社会実現のための地域等での人権教育・啓発活動に活かす。	<p>※26年度は、男女共同参画をテーマにした研修は未実施</p>	-	教) 生涯学習課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>72千円</td> <td>〈72千円〉</td> </tr> </table>		
26年度予算額	25年度予算額			
72千円	〈72千円〉			

施策の方向 2 男女共同参画推進センターを中心とした啓発・学習の全市的展開

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 3 男女共同参画推進センターにおける取組の推進</b>				
男女共同参画講座・講演会の実施	主催するすべての講座において、定員を超える応募者数を得る。	① 男女の自立や男女共同参画を促進するための講座 18講座43回 参加者2,803人 <20講座60回 参加者2,892人> 事前申込みが必要な15講座中、応募者数が定員を満たしたものは9講座<16講座中 10講座>	B	市) 事業推進課
		② 女性のチャレンジ支援のための講座等 17講座205回 参加者3,509人 <13講座149回 参加者2,520人> 事前申込みが必要な16講座中、応募者数が定員を満たしたものは8講座<12講座中 5講座>	B	市) 事業推進課
	参加者数300人を超える。	③ 健康管理の支援のための講演会等 1講座2回 参加者563人<1講座2回 参加者290人>	B	市) 事業推進課
		①～③合計 36講座 250回 6,875人(女性5,914人,男性961人) <34講座 211回 5,702人(女性4,728人,男性974人)>  予 算 額 26年度予算額 14,690千円 25年度予算額 <14,734千円>		
市民グループ活動支援事業	イベント部門 30企画 調査研究部門 1企画	イベント部門 31企画<40企画> 調査研究部門 0企画<1企画>  事業報告会参加者数 46人<59人> 報告書 1種類 700部発行<1種類 800部発行>	B	市) 事業推進課
		予 算 額 26年度予算額 2,404千円 25年度予算額 <2,798千円>		
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等		女性の人生サポート講座 全7回 講師:相原わかば(弁護士)・行時智子(税理士)ほか 参加者数:216人<130人>	B	市) 事業推進課
		予 算 額 26年度予算額 - 25年度予算額 -		



1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等		男女共同参画講座 「アミカス△共感ゼミ」 映画「GIRL RISING～私が決める、私の未来～」上映会  参加者数:延べ313人(全2回)<延べ159人(全3回)>  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 - -	B	市) 事業推進課
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等		○映画「燦燦」上映会 参加者数:554人  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 - -	B	市) 事業推進課
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等		男女共同参画基礎講座「ジェンダーというメガネのナゾ」 ・寸劇出演:福岡市男女共同参画推進サポーター ・講演「ジェンダーというメガネのナゾ」 講師:諸橋泰樹(フェリス女学院大学教授) 参加者数:153人 共同主催:福岡市七区男女共同参画協議会  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 - -	B	市) 事業推進課
<b>具体的施策 4 拠点施設としての支援の充実</b>				
「地域における男女共同参画講座・講演会」支援事業	支援件数を50件以上に する。	市民センターや公民館など地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会について、プログラム作成、講師紹介等のアドバイスをを行い支援を行った。  支援回数:74件<54件> (内訳) プログラム作成 0件<0件> 講師紹介 48件<24件> アミカス寸劇隊派遣事業 17件<8件> 出前講座 9件<22件>  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 - -	A	市) 事業推進課
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣件数50回	○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した29人と、前期より継続して登録した17人、合計46人(女性38人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 15回<12回> ・講座の受講者数 延べ716人<404人>  ○第5期男女共同参画推進サポーター養成講座 平成27年度から3年間、市民講師として派遣する第5期サポーターを養成するための講座を実施した。 全6回 参加者数 延べ68人 <男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座全2回 参加者数 延べ183人>  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 - -	B	市) 事業推進課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<b>具体的施策 5 区役所、人権啓発センター、婦人会館、市民センターにおける取組の推進</b>								
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	<p>①定例会の開催(委員:27人) 定例会12回</p> <p>②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:270人&lt;310人&gt; 講演:「今どきの子育て世帯が地域を変える!?’ 講師:小津 智一 氏 (NPOファザリング・ジャパン九州代表理事) 演奏会:「スウィング・ストリート・ジャズ・オーケストラ」</p> <p>③男女共同参画社会づくり講座 参加者:271人&lt;370人&gt; テーマ「DVとは そして私たちは」(3回シリーズ) 主催:東区生涯学習推進課 共催:東区企画振興課 協力:東区男女共同参画連絡協議会</p> <p>④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:55名&lt;77人&gt; 「ダンボールワークショップ」(地域で参加者を集めやすいイベント体験) 講師:吉田 忠 氏 , 杉山 拓人 氏 (NPOファザリング・ジャパン九州)</p> <p>⑤日本女性会議2014札幌(3名参加)&lt;4人&gt;</p> <p>⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加)</p> <p>⑦筑紫少女苑 成人式に参列</p> <p>⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名</p>	B	東) 企画振興課				
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;">26年度予算額 769千円</td> <td style="text-align: center; width: 50%;">25年度予算額 &lt;810千円&gt;</td> </tr> </table>	予 算 額		26年度予算額 769千円	25年度予算額 <810千円>		
予 算 額								
26年度予算額 769千円	25年度予算額 <810千円>							
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	<p>①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等</p> <p>②男女共同参画講演会(研修会)(参加者64名) テーマ:地域活動における性別役割分担 内 容:寸劇とワークショップ 講 師:アマカス寸劇隊 対 象:校区男女共同参画委員、自治協議会長、 公民館長・主事、まち館館長</p> <p>③日本女性会議への参加(参加者数7名) 分科会・全体会へ参加</p> <p>④第2回 男女協サミットへの参加 (各校区代表)</p> <p>⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第4ブロック」(参加者74名)</p> <p>⑥視察研修(参加者数:41名) 視察先:三潁郡大木町 講 師:農事組合法人モア・ハウス代表 大藪佐恵子氏</p> <p>⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り、各校区にて保有する。</p> <p>⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(17名)</p>	B	博) 企画振興課  ※26年度は 地域振興課				
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;">26年度予算額 982千円</td> <td style="text-align: center; width: 50%;">25年度予算額 &lt;1,045千円&gt;</td> </tr> </table>	予 算 額		26年度予算額 982千円	25年度予算額 <1,045千円>		
予 算 額								
26年度予算額 982千円	25年度予算額 <1,045千円>							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・役員会(月1回程度)の開催 ・定例会(月1回程度)での情報交換 定例会での校区活動報告 区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計2人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画研修会の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:生涯学習・社会システム研究者 三浦 清一郎氏/参加者:75名)</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p>		
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td style="width:50%;">26年度予算額 356千円</td> <td style="width:50%;">25年度予算額 &lt;386千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額 356千円	25年度予算額 <386千円>		
26年度予算額 356千円	25年度予算額 <386千円>					
<p>中央区女性地域アクティブメイト事業</p>	<p>学習・活動の場・交流の場を提供し、女性の社会参画を促進する。</p>	<p>各校区男女共同参画協議会会長が推薦する地域コミュニティの中で若手・中堅として活躍が期待される女性を「中央区女性地域アクティブメイト」に任命し、下記の活動を行った。</p> <p>アクティブメイト14名</p> <p>(1)学習・研究活動 行政や地域、男女共同参画などにおいて市民生活に係わる様々な問題の中から、自分たちで研究テーマを設定し、学習・研究活動を行い、また、その活動を通して、会議の運営やプレゼンテーション力などの技術を習得した。 25・26年度テーマ:コミュニケーション・子どもと遊び・私達のまちのゴミ事情</p> <p>(2)報告活動 ・研究成果や活動結果を報告書にまとめ、中間報告会を開催 ・各校区の男女共同参画協議会等で随時活動報告</p> <p>(3)旧アクティブメイトへの情報提供 前年度までに活動したアクティブメイトに対して情報提供を行った。</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p>		
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td style="width:50%;">26年度予算額 389千円</td> <td style="width:50%;">25年度予算額 &lt;288千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額 389千円	25年度予算額 <288千円>		
26年度予算額 389千円	25年度予算額 <288千円>					

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成26年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(5月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、11月、1月) 「介護」「防災」「コミュニケーション」など、身近なテーマから男女共同参画について考えるもの 講師による講話やグループワークを実施</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年7回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座【参加者数:36名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②25年度南区男女共同参画事業・活動報告書の作成【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p> <p>予 算 額</p> <table border="1" data-bbox="592 969 1209 1025"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>834千円</td> <td>&lt;740千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	834千円	<740千円>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>
26年度予算額	25年度予算額							
834千円	<740千円>							
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(11回) 校区活動報告、情報交換、行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「上手な男女共同参画の進め方 PART2」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:81名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 校区で男女共同参画を進めるための意識付けのため、区主催で講演会を行うもの。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:145名】 I部 「日本女性会議2014札幌」参加報告 II部 講演「笑って元気 家庭の絆・親子の絆。地域の絆」 ・講師: 矢野 大和氏(おおいた観光特使)</p> <p>③「日本女性会議2014札幌」への派遣 2名</p> <p>予 算 額</p> <table border="1" data-bbox="592 2033 1209 2096"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>961千円</td> <td>&lt;991千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	961千円	<991千円>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>
26年度予算額	25年度予算額							
961千円	<991千円>							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
早良区男女共同参画協議会活動支援	校区活動の活性化へつなげる活動の支援。  男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	<p>1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施</p> <p>①早良公民館(Aブロック) 80名(91名) 講師 小ノ上 マン太郎 氏(NPO法人博多笑い塾理事長) テーマ「男と女 笑いでできずく参画社会 ～地域づくり、人づくりを考える～」</p> <p>②田隈公民館(Bブロック) 80名(62名) 講師 NPO法人福岡ジェンダー研究所 倉富 史枝 氏 テーマ サンカクいいね! ～みんなで語る男女共同参画～</p> <p>③原西公民館(Cブロック) 80名(65名) 講師 日高 邦博 氏(主夫) テーマ「主婦と主夫、かなで書けば同じ『しゅふ』 ～思いやりとありがとうのある暮らし～」</p> <p>④室見公民館(Dブロック) 80名(71名) テーマ 身近なことで考えてみよう参画社会を アミカス寸劇隊による『息子夫婦・娘夫婦』&amp;ワークショップ</p> <p>2. 日本女性会議2014札幌参加(委員4名参加)</p> <p>3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置</p> <p>4. 委員研修会 第1回 80名(4名) テーマ「地域での男女共同参画の推進について ～事例紹介と情報交換会～」 講師 佐藤 倫子氏(ファシリテーター・Edu代表世話人) 第2回 60名(54名) テーマ「男女共同参画形成のために」 講師 柳 淑子 氏 (リプロダクティブ・ヘルス/ライツと環境を考える会事務局長)</p> <p>5. 早良区男女共同参画講演会 184名 「まじめに笑って考えよう! 男女共同参画で考える 地域と家庭と未来」 講師:瀬地山 角氏(東京大学大学院総合文化研究科 教授)</p> <p>6. 早良区スポーツ&amp;フードフェスタ 「福岡マラソン2014」のファンランフィニッシュ地点で開かれた 「早良区スポーツ&amp;フードフェスタin百道浜」にて パネル展示を通して男女共同参画の啓発を行った。</p>	B	早) 地域支援課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>720千円</td> <td>〈720千円〉</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	720千円	〈720千円〉		
26年度予算額	25年度予算額							
720千円	〈720千円〉							
西区男女共同参画連絡会活動支援	自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。	<p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。委員交流会・意見交換会やフェスティバルの開催及び広報紙を発行した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画推進奨励賞等を実施した。</p> <p>1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2014 「かたり合い、笑顔でつなぐ 地域の輪」 240名(230名)</p> <p>2. 日本女性会議 日本女性会議2014札幌参加 5名(1名)</p> <p>3. 委員交流・意見交換会 ①9月委員交流会・意見交換会 33名(31名) 「本音でかたる地域づくり」 アドバイザー 松村 良子氏 ※地域リーダー育成研修会として開催 ②1月委員交流会・意見交換会 26名(26名) 「私にできる一歩(本音でかたる地域づくり)」 ③3月委員交流会・意見交換会 32名(29名) 「みんなでやろう 地域づくり」 発表 藤田 佳世子(姪浜校区)・松岡 智恵子(玄洋校区)</p> <p>4. 全体会 ①35名 ②32名(3月委員交流会終了後、同日開催)</p> <p>5. 広報紙「なぎさ」 47号・48号(各号6600部)発行(45・46号は6500部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。</p> <p>6. 男女共同参画推進奨励賞 受賞者:1団体と4名 〈受賞者:1団体〉</p>	B	西) 振興課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>1,216千円</td> <td>〈1,130千円〉</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	1,216千円	〈1,130千円〉		
26年度予算額	25年度予算額							
1,216千円	〈1,130千円〉							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
男女共同参画社会づくり講座	市民センターにおける男女共同参画講座・講演会の実施。	男女共同参画社会づくり講座「超高齢社会の絆を考える」 ①「男女共同参画を推進するために」 NPOジェンダー研究所 理事 倉富 史枝 ②「DV被害者支援と子どもへの影響」 佐賀県DV総合対策センター 所長 原 健一 ③「DV被害にあった時、見つけた時に知っておくべき法的知識」  受講者数 全3回:271名	A	東) 生涯学習推進課
		予 算 額 26年度予算額 50千円 25年度予算額 <168千円>		
南区人権講座	すべての人の人権が尊重されるまちづくりをめざして、市民がさまざまな人権問題を考える機会を提供 5回の講演会を実施	第4回目 短歌でつづる40年 ～男女共同参画社会を目指して～ 講師:福岡県女性研修の翼 第2回団長, 歌人(第42回福岡市文学賞受賞) 池野 京子  受講者数 275人	B	南) 生涯学習推進課
		予 算 額 26年度予算額 235千円 25年度予算額 <305千円>		
具体的施策 6 公民館における取組の推進				
公民館における男女共同参画学習講座	公民館主催事業(男女共同参画講座)実施館数の増加。 60館	公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。  公民館数 46館 < 49館 > 回数 184回 < 193回 > 参加人数 5,274人 < 5,485人 >	B	市) 公民館調整課
		予 算 額(全主催事業分) 26年度予算額 54,332千円 25年度予算額 <55,139千円>		
具体的施策 7 男女共同参画に関する調査・研究				
男女共同参画データブックの作成	テーマ別に分類し、より活用しやすいものにする。	2014年度版男女共同参画データブック「男女共同参画 Year Book Fukuoka 2014-2015」を作成。地域での男女共同参画に関する研修等で活用することを目的に、12のテーマに沿って、男女共同参画の実態や課題を図表を示して説明した。  作成部数:1,000冊<24年度1,000冊>	A	市) 事業推進課
		予 算 額 26年度予算額 - 25年度予算額 -		
市民意識調査	施策に反映できる、より有効な調査項目を検討する。	男女共同参画に係る施策を展開するうえで基礎資料とするため5年ごとに調査を実施。  ○平成25年度調査(調査期間:平成25年8月30日～9月17日) ・調査対象者数 4,500人 ・回収率 43.3% ・設問数 21問	-	市) 男女共同参画課
		予 算 額 26年度予算額 - 25年度予算額 3,100千円		

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
女性労働実態調査	施策に反映できる、より有効な調査項目を検討する。	<p>市内事業所における従業員の就業実態を把握し、男女共同参画に係る施策を展開するうえでの基礎資料とするため5年ごとに調査を実施。</p> <p>○平成26年度調査</p> <p>1. 郵送調査</p> <p>(1)調査期間:平成26年11月27日～12月16日</p> <p>(2)調査対象</p> <p>①市内事業所:2,000社(回収率 30.9%)</p> <p>②女性従業員:4,000人(回収率 29.3%)</p> <p>③男性従業員:4,000人(回収率 26.3%)</p> <p>④パートタイム労働者:2,000人(回収率 15.9%)</p> <p>2. インタビュー調査</p> <p>(1)企業インタビュー</p> <p>①調査期間:平成26年12月22日～平成27年1月25日</p> <p>②調査対象:市内事業所の経営者人事部門:50社</p> <p>(2)従業員インタビュー</p> <p>①調査期間:平成26年12月20日～21日</p> <p>②市内で働く人:50人(男性25人 女性25人)</p>	A	市)男女共同参画課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1" data-bbox="592 757 1209 822"> <tr> <td data-bbox="592 757 903 790">26年度予算額</td> <td data-bbox="903 757 1209 790">25年度予算額</td> </tr> <tr> <td data-bbox="592 790 903 822">6,551千円</td> <td data-bbox="903 790 1209 822">-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	6,551千円	-		
26年度予算額	25年度予算額							
6,551千円	-							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
<b>具体的施策 8 男女共同参画に関する広報と情報提供</b>					
「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」の周知	「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」の周知を図る。	平成21年10月に「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」を改定発行した。また市職員を対象とした研修を開催し、手引きの内容説明及び、参加者が実際に作成した印刷物に対する具体的なアドバイスを行った。 研修参加者 計 80名 <研修参加者 計 35名> また全庁OA(市職員向け)に手引きを掲載し、全課に周知している。	B	市長) 広報課	
		予 算 額			
		26年度予算額	25年度予算額		
		-	-		
ユニバーサル都市・福岡の推進	年齢、性別、能力、背景などに関わらず、すべての人にとって住みやすく、来てみたくなる、みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」の実現に向け、ユニバーサルデザインの考え方に対する市民の理解促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサル都市・福岡賞・表彰式の実施 (平成26年10月26日)</li> <li>・ユニバーサル都市・福岡フェスティバルの実施 (平成26年10月4日～平成26年10月26日)</li> <li>・NPOや大学等との連携による市民参加型イベントの実施 (平成26年10月4日)</li> <li>・企業向けUDビジネスセミナーの実施 (平成26年10月20日)</li> <li>・新聞・ラジオ(4回)による広報活動の実施</li> <li>・ホームページ・ソーシャルメディアの活用、出前講座の実施等 (3回)</li> <li>・ユニバーサル都市・福岡デザインワークショップの実施(1回)</li> <li>・NPO等による取組みへの支援(事業費の4/5, 上限40万)</li> <li>・小学校での出前授業・人文字プロモーションによる推進(1回)</li> <li>・児童向け教材の配布、活用(市内の新4年生全員に配布)</li> <li>・全庁におけるユニバーサル都市・福岡推進本部会議の開催(1回)、関係課長で構成する幹事会の開催(1回)</li> <li>・eラーニングの活用、新規採用職員への講師派遣等(2回)</li> </ul>	B	総) 企画調整部	
		予 算 額			
		26年度予算額	25年度予算額		
		15,000千円	<15,000千円>		
行政広報物における表現のガイドラインの周知	市職員や市民が必要に応じて閲覧できるよう全庁OA、ホームページ等を活用し周知を図る。	「行政広報物における表現のガイドライン」を全庁OA(市職員向け)に掲載し、周知している。 A4版(全7項 ※福岡県と北九州市と平成12年共同製作) (平成19年改訂)  行政広報物作成の際は、企画・制作を請け負う印刷事業者や広告代理店等に対しても同ガイドラインを配布することとしている。	B	市) 男女共同参画課	
		予 算 額			
		26年度予算額	25年度予算額		
		-	-		
市政だよりによる広報	効果的なタイミングに広報を行う。	男女共同参画推進にかかる市政だよりの広報 広報実績 計9回掲載<計6回> ・市男女共同参画週間「みんなて参画ウィーク」の周知(11/1号) ・テレワークの導入支援の周知(2/1号) ・男女共同参画審議会公募委員募集(8/1号)  その他(市後援事業など) 6件	A	市) 男女共同参画課	
		予 算 額			
		26年度予算額	25年度予算額		
		-	-		
市政だよりによる広報	効果的なタイミングに広報を行う。	情報BOXのページにアミカス欄を設け、事業実施前の適切な時期に記事を掲載。掲載件数:59件<54件>  南区医師会との共同主催の講座 南区版に掲載:2件<1件> 職業訓練協会との共同主催の講座 お仕事欄に掲載:11件<11件>	A	市) 事業推進課	
		予 算 額			
		26年度予算額	25年度予算額		
		-	-		



1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
市HPでの情報提供	関連部署とリンクさせるなど利便性を向上させ、市民が見やすく、分かり易いホームページとなるよう工夫する。	<p>本市の男女共同参画にかかる情報に関しては下記アドレスにて情報を発信している。</p> <p>福岡市トップページ→生活情報→<u>人権・男女共同参画</u></p> <p>26年度の主な掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画審議会</li> <li>・テレワーク(在宅勤務)導入支援事業</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスセミナー受講企業募集</li> <li>・仕事と子育て両立応援セミナーの開催</li> <li>・「モデル校区地域リーダー育成塾」報告会の開催</li> <li>・社会貢献優良企業優遇制度の募集</li> <li>・男女共同参画推進協議会</li> <li>・男女共同参画審議会公募委員募集 等</li> </ul>	A	市) 男女共同参画課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
インターネットによる広報(アミカスHP)	<p>アクセス件数を250,000件以上にする。</p> <p>メルマガ登録数を1,500件以上にする。</p>	<p>○ホームページによる広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進センターの施設案内、事業概要、イベント、講座等の案内・募集、事業報告、アンケート集計等</li> <li>・調査研究報告書、図書情報、出版物の紹介</li> <li>・女性関連情報サイトへのリンク</li> </ul> <p>アクセス件数 187,108件&lt;222,851件&gt;</p> <p>○メールマガジンの配信</p> <p>メールマガジン登録者に男女共同参画推進センターの案内や男女共同参画の情報等を配信した。</p> <p>登録数1,256件&lt;登録数1,157件&gt;</p>	B	市) 事業推進課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
出前講座	受講者の満足度の向上を図る。	<p>出前講座において男女共同参画社会基本法、男女共同参画を推進する条例等について説明を行った。</p> <p>実施回数 6件&lt;10件&gt; 参加者数 165人&lt;328人&gt; 受講者の満足度 98.2%&lt;91.6%&gt;</p>	B	市) 男女共同参画課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
人材情報の提供	人材登録者数を300件以上にする。	<p>女性問題の視点から人材情報を収集し提供した。</p> <p>人材情報の登録及びインターネット等による情報を提供。</p> <p>登録数:286件&lt;286件&gt; 提供件数:24件&lt;22件&gt;, その他21件&lt;13件&gt;</p> <p>WEB検索については、教育委員会生涯学習課のホームページ「まなびアイふくおか」の人材バンクで検索可能。</p>	B	市) 事業推進課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
広報紙の発行	広報紙に関しては、紙媒体から電子媒体へ移行していくことを考慮に入れ発行する。	<p>男女共同参画推進センターの事業等を紹介するとともに、女性問題解決のための情報提供や啓発を行った。</p> <p>○広報紙「アミカスタイムズ」の発行</p> <p>発行回数:年3回 発行部数:6,000部/回 配布先:全国の男女共同参画行政機関・施設、マスコミ、近郊大学・短大、市内の企業・病院、市情報プラザ、市民センター 等</p> <p>○情報紙「アミカスカワラ版」の発行</p> <p>発行回数:毎月1回 発行部数:2,800部/回&lt;同左&gt;</p> <p>○アミカス図書室情報案内の発行</p> <p>発行回数:毎月1回 発行部数:700部/回&lt;780部&gt;</p>	A	市) 事業推進課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
広報テレビ番組による広報	合計5回以上広報を行う。	テレビ番組で関連事業などを広報した。 ・J:COM福岡「街ingふくおか」  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 - -	B	市) 事業推進課
アミカス図書室による情報の提供	蔵書数 44,000冊 貸出数 57,000冊 利用者数 46,000人	男女共同参画や女性問題に関する図書・資料等を収集し、貸出・閲覧・レファレンスを行った。  蔵書数: 44,984冊<45,044冊> 貸出数: 47,314冊<50,958冊> 利用者数: 43,015人<44,763人> レファレンス受付件数: 3件<1件>  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 18,087千円 <18,493千円>	B	市) 事業推進課
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣件数 50回	(具体的施策 4再掲) ○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した29人と、前期より継続して登録した17人、合計46人(女性38人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 15回<12回> ・講座の受講者数 延べ716人<404人>  ○第5期男女共同参画推進サポーター養成講座 平成27年度から3年間、市民講師として派遣する第5期サポーターを養成するための講座を実施した。 全6回 参加者数 延べ68人 <男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座全2回 参加者数 延べ183人>	B	市) 事業推進課
ココロンセンターだより	センターの事業紹介をはじめ、人権啓発情報を提供し、市民の人権意識の向上を図る。	・6月、9月、12月、3月の年4回発行 ・発行部数各4,000部<4,000部> ・ハートフルフェスタや人権尊重週間行事、人権啓発推進指導員のコラム、障害者差別解消法の特集記事や登録団体の紹介等を行った。 ・配布先: 公民館, 市民センターなど, 市の公共施設  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 420千円 <430千円>	B	市) 人権啓発センター
ラジオ番組「こころのオルゴール」	市民の人権意識の向上(マスメディアを活用した市民の人権意識の啓発)	様々な人権問題をテーマにしたシナリオ全33本中、女性に関する問題をテーマとしたものを3本制作・12回放送した。  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 15,412千円 <13,612千円>	B	市) 人権啓発センター
「まなびアイふくおか」による広報	ホームページ「まなびアイふくおか」、情報誌「まなびアイふくおか」、市政だより等を通じて、福岡都市圏のさまざまな機関・団体が開催する男女共同参画に関する事業を紹介する。	「福岡市学習情報提供システム まなびアイふくおか(ホームページ)」の講座・イベント情報及び情報誌「まなびアイふくおか」のなかで、男女共同参画に関する事業を紹介した。 1 ホームページアクセス数: 1,381,692件<1,282,047件> 2 情報誌 ・発行回数: 年4回<同左> ・発行部数: 1,200部<1,305部> ・配布先: 市民センター, 区役所, 情報プラザ, 総合図書館等  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 108千円 105千円	A	教) 生涯学習課

**施策の方向 3 市民等との連携・共働の推進**

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 9 市民団体、NPO、自治協議会等との連携・共働</b>				
市民グループ活動支援事業	イベント部門 30 企画 調査研究部門 1 企画	(具体的施策 3再掲) イベント部門 31企画<40企画> 調査研究部門 0企画<1企画>  事業報告会参加者数 46人<59人> 報告書 1種類 700部発行<1種類 800部発行>	B	市) 事業推進課
「地域における男女共同参画講座・講演会」支援事業	支援件数を50件以上に する。	(具体的施策 4再掲) 市民センターや公民館など地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会について、プログラム作成、講師紹介等のアドバイスをを行い支援を行った。  支援回数:74件<54件> (内訳) プログラム作成 0件<0件> 講師紹介 48件<24件> アミカス寸劇隊派遣事業 17件<8件> 出前講座 9件<22件>	A	市) 事業推進課
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣回数50回	(具体的施策 4再掲) ○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した29人と、前期より継続して登録した17人、合計46人(女性38人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 15回<12回> ・講座の受講者数 延べ716人<404人>  ○第5期男女共同参画推進サポーター養成講座 平成27年度から3年間、市民講師として派遣する第5期サポーターを養成するための講座を実施した。 全6回 参加者数 延べ68人 <男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座全2回 参加者数 延べ183人>	B	市) 事業推進課
登録団体との共働事業	「市民・行政共働型」 啓発をさらに効果的に 推進する。	平成25年度は、福岡の皮革産業の歴史や部落差別について学ぶため、福岡市博物館や人権のまちづくり館をめぐり人権フィールドワーク(現地学習会)を実施した。 平成26年度は男女共働参画に関する登録団体であるNPO法人福岡ジェンダー研究所と共催で、オレンジリボンキャンペーンについてのトークショー、ゴスペルワークショップ等を内容とする「オレンジリボンキャンペーン・ゴスペル in 福岡」を開催した。また、セクシャルマイノリティに関する登録団体FRENSと協力して多様な性の当事者によるスピーチコンテストやにじいろ合唱団による合唱等を内容とする「にじいろ文化祭」を開催した。  予 算 額 26年度予算額 54千円 25年度予算額 <54千円>	B	市) 人権啓発センター
人権啓発センター登録団体交流会	参加団体数の増加	平成25年度は、実施を見送った。 平成26年度はRAKUPA 園田 正一郎を講師に招き、2回のセミナーを開催した。 ・(1回目)「実践！読まれる広報紙の作り方」 参加団体数 7団体(13名) ・(2回目)「マスコミを味方にするPR術」 参加団体数 10団体(11名)  予 算 額 26年度予算額 28千円 25年度予算額 <28千円>	B	市) 人権啓発センター
活力あるまちづくり支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。  補助金交付団体数 148団体<148団体> (うち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付)  予 算 額 26年度予算額 479,000千円 25年度予算額 <484,796千円>	A	市) コミュニティ推進課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>①定例会の開催(委員:27人) 定例会12回</p> <p>②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:270人&lt;310人&gt; 講演:「今どきの子育て世帯が地域を変える!？」 講師:小津 智一 氏 (NPOファザーリング・ジャパン九州代表理事) 演奏会:「スウィング・ストリート・ジャズ・オーケストラ」</p> <p>③男女共同参画社会づくり講座 参加者:271人&lt;370人&gt; テーマ「DVとは そして私たちは」(3回シリーズ) 主催:東区生涯学習推進課 共催:東区企画振興課 協力:東区男女共同参画連絡協議会</p> <p>④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:55名&lt;77人&gt; 「ダンボールワークショップ」(地域で参加者を集めやすいイベント体験) 講師:吉田 忠 氏 , 杉山 拓人 氏 (NPOファザーリング・ジャパン九州)</p> <p>⑤日本女性会議2014札幌(3名参加)&lt;4人&gt;</p> <p>⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会, 演舞台に参加)</p> <p>⑦筑紫少女苑 成人式に参列</p> <p>⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名</p>	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等</p> <p>②男女共同参画講演会(研修会)(参加者64名) テーマ:地域活動における性別役割分担 内 容:寸劇とワークショップ 講 師:アミカス寸劇隊 対 象:校区男女共同参画委員, 自治協議会長, 公民館長・主事, まち館館長</p> <p>③日本女性会議への参加(参加者数7名) 分科会・全体会へ参加</p> <p>④第2回 男女協サミットへの参加 (各校区代表)</p> <p>⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第4ブロック」(参加者74名)</p> <p>⑥視察研修(参加者数:41名) 視察先:三潞郡大木町 講 師:農事組合法人モア・ハウス代表 大藪佐恵子氏</p> <p>⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り, 各校区にて保有する。</p> <p>⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(17名)</p>	B	博) 企画振興課  ※26年度は 地域振興課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・役員会(月1回程度)の開催 ・定例会(月1回程度)での情報交換 定例会での校区活動報告 区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計2人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画研修会の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:生涯学習・社会システム研究者 三浦 清一郎氏/参加者:75名)</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p>
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成26年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(5月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、11月、1月) 「介護」「防災」「コミュニケーション」など、身近なテーマから男女共同参画について考えるもの 講師による講話やグループワークを実施</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年7回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座【参加者数:36名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②25年度南区男女共同参画事業・活動報告書の作成【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(11回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「上手な男女共同参画の進め方 PART2」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:81名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 校区で男女共同参画を進めるための意識付けのため、区主催で講演会を行うもの。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:145名】 I部 「日本女性会議2014札幌」参加報告 II部 講演「笑って元気 家庭の絆・親子の絆。地域の絆」 ・講師: 矢野 大和氏(おおいた観光特使)</p> <p>③「日本女性会議2014札幌」への派遣 2名</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
早良区男女共同参画協議会活動支援	<p>校区活動の活性化へつながる活動の支援。</p> <p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施</p> <p>①早良公民館(Aブロック) 80名(91名) 講師 小ノ上 マン太郎 氏(NPO法人博多笑い塾理事長) テーマ「男と女 笑いでさずく参画社会 ～地域づくり、人づくりを考える～」</p> <p>②田隈公民館(Bブロック) 80名(62名) 講師 NPO法人福岡ジェンダー研究所 倉富 史枝 氏 テーマ サンカクいいね!～みんなで語る男女共同参画～</p> <p>③原西公民館(Cブロック) 80名(65名) 講師 日高 邦博 氏(主夫) テーマ「主婦と主夫、かなで書けば同じ『しゅふ』 ～思いやりとありがとうのある暮らし～」</p> <p>④室見公民館(Dブロック) 80名(71名) テーマ 身近なことで考えてみよう参画社会を アミカス劇隊による『息子夫婦・娘夫婦』&amp;ワークショップ</p> <p>2. 日本女性会議2014札幌参加(委員4名参加)</p> <p>3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置</p> <p>4. 委員研修会 第1回 80名(4名) テーマ「地域での男女共同参画の推進について ～事例紹介と情報交換会～」 講師 佐藤 倫子氏(ファシリテーター・Edu代表世話人) 第2回 60名(54名) テーマ「男女共同参画形成のために」 講師 柳 淑子氏 (リプロダクティブ・ヘルス/ライツと環境を考える会事務局長)</p> <p>5. 早良区男女共同参画講演会 184名 「まじめに笑って考えよう! 男女共同参画で考える 地域と家庭と未来」 講師:瀬地山 角氏(東京大学大学院総合文化研究科 教授)</p> <p>6. 早良区スポーツ&amp;フードフェスタ 「福岡マラソン2014」のファンランフィニッシュ地点で開かれた 「早良区スポーツ&amp;フードフェスタin百道浜」にて パネル展示を通して男女共同参画の啓発を行った。</p>	B	早) 地域支援課
西区男女共同参画連絡会活動支援	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。委員交流会・意見交換会やフェスティバルの開催及び広報紙を発行した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画推進奨励賞等を実施した。</p> <p>1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2014 「かたり合い、笑顔でつなぐ 地域の輪」 240名(230名)</p> <p>2. 日本女性会議 日本女性会議2014札幌参加 5名(1名)</p> <p>3. 委員交流・意見交換会 ①9月委員交流会・意見交換会 33名(31名) 「本音でかたる地域づくり」 アドバイザー 松村 良子氏 ※地域リーダー育成研修会として開催 ②1月委員交流会・意見交換会 26名(26名) 「私にできる一歩(本音でかたる地域づくり)」 ③3月委員交流会・意見交換会 32名(29名) 「みんなでやろう 地域づくり」 発表 藤田 佳世子(姪浜校区)・松岡 智恵子(玄洋校区)</p> <p>4. 全体会 ①35名 ②32名(3月委員交流会終了後、同日開催)</p> <p>5. 広報紙「なぎさ」 47号・48号(各号6600部)発行(45・46号は6500部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。</p> <p>6. 男女共同参画推進奨励賞 受賞者:1団体と4名 (受賞者:1団体)</p>	B	西) 振興課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
<b>具体的施策 10 大学との連携</b>						
未実施						
					予 算 額	
					26年度予算額	25年度予算額
<b>具体的施策 11 報道機関との連携</b>						
行政広報物における表現のガイドラインの周知	市職員や市民が必要に応じて閲覧できるように全庁OA, ホームページ等を活用し周知を図る。	(具体的施策 8再掲) 「行政広報物における表現のガイドライン」を全庁OA(市職員向け)に掲載し, 周知している。 A4版(全7項 ※福岡県と北九州市と平成12年共同製作) (平成19年改訂)  行政広報物作成の際は、企画・制作を請け負う印刷事業者や広告代理店等に対しても同ガイドラインを配布することとしている。	B	市) 男女共同参画課		
広報テレビ番組による広報	合計5回以上広報を行う。	(具体的施策 8再掲) テレビ番組で関連事業などを広報した。 ・J:COM福岡「街ingふくおか」	B	市) 事業推進課		
ラジオ番組「こころのオルゴール」	市民の人権意識の向上 (マスメディアを活用した市民の人権意識の啓発)	(具体的施策 8再掲) 様々な人権問題をテーマにしたシナリオ全33本中、女性に関する問題をテーマとしたものを3本制作・12回放送した。	B	市) 人権啓発センター		



**施策の方向 4 国際理解・交流の推進**

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 12 男女平等に関する国際理解の推進</b>				
海外の女性情報の収集及び提供	蔵書数55種類 リンク数を20にする	○英文資料を収集・提供 蔵書数：52種類(52種類)	B	市) 事業推進課
		○アミカスHPから7つの海外サイトにリンクしている。〈7〉		
		予 算 額		
		26年度予算額	25年度予算額	
		-	-	
<b>具体的施策 13 在住外国人女性への支援</b>				
区役所業務に係る在住外国人窓口案内・相談事業	外国人が利用しやすい相談窓口とする。	東区市民相談室に通訳を配置し、区役所業務に係る案内・相談や市政に係る相談を受け付けた。 相談件数 95件(98件) ・英語 月曜日 ・中国語 木曜日 13:00～16:00	B	総) 国際課
		予 算 額		
		26年度予算額	25年度予算額	
		800千円	〈794千円〉	
在住外国人の生活環境整備事業(在住外国人のための日本語学習支援)	市主催・民間含め日本語ボランティア教室の延べ数の維持・拡大	市内5か所の市民センターにおいて市民ボランティアとの共働により日本語教室を実施した。 また、他のボランティア日本語教室についても、一覧としたパンフレット「にほんごClass Map」を更新し、区役所窓口などで配布し在住外国人への周知に努めた。 H26.9月時点の教室数52教室(市主催・民間含む) (H25.9月時点の教室数51教室(市主催・民間含む))	A	総) 国際課
		予 算 額		
		26年度予算額	25年度予算額	
		2,748千円	〈2,844千円〉	

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
外国語版広報印刷物の発行	現状のサービスを維持する。	<p>○外国語情報紙の発行 ((公財)福岡よかトピア国際交流財団 レインボープラザ編集・発行) ・英語版 隔月刊 5,500部 ・中国語版・韓国語版 隔月刊 各2,500部</p> <p>○リビング・イン・フクオカ(外国人のための生活便利帳) 区役所窓口で無料配付</p>	A	総)国際課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>26,546千円</td> <td>&lt;27,451千円&gt;</td> </tr> </table> <p>※予算額は国際部「リビング・イン・フクオカ」予算と福岡よかトピア国際交流財団「一般相談・情報提供」の合計額</p>	26年度予算額	25年度予算額	26,546千円	<27,451千円>		
26年度予算額	25年度予算額							
26,546千円	<27,451千円>							
国際交流財団事業(レインボープラザにおける相談・情報提供)	現状のサービスを維持する。	<p>○(公財)福岡国際交流協会 レインボープラザでの多言語相談・情報提供(英語・中国語・韓国語) ・法律相談 月2回 ・入国・在留・国籍相談 月1回 ・カウンセリング 週3回 ・健康相談 週1回 ・全体の相談件数6,739件&lt;8,124件&gt; ※外国人に対する相談のみ</p>	A	総)国際課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>26,336千円</td> <td>&lt;26,764千円&gt;</td> </tr> </table> <p>※予算額は(公財)福岡よかトピア国際交流財団の「一般相談・情報提供」と「外国人専門相談」の合計額</p>	26年度予算額	25年度予算額	26,336千円	<26,764千円>		
26年度予算額	25年度予算額							
26,336千円	<26,764千円>							
アミカス日本語クラス		<p>アミカス日本語クラスとの共同主催により講座を実施。 主に国際結婚、夫の仕事などで、福岡に来た外国人女性のための日本語クラスを実施。</p> <p>全40回 参加人数:延べ645人(22カ国)&lt;延べ651人(19カ国)&gt;</p>	A	市) 事業推進課  (実施主体: アミカス日本語 クラス)				
外国人母子保健サービス事業	在住外国人の母子に対するサービスの向上	<p>外国語版母子健康手帳の交付 交付数50冊(50冊)</p> <p>※乳幼児健康診査時に英語版のアンケート用紙を使用</p>	B	こ) こども発達支援課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
保健師等の訪問指導等における外国語通訳業務	在住外国人に対するサービスの向上	<p>保健師等が日本語の通じない外国人家庭を訪問する際に、保健相談・指導業務を円滑にするための電話通訳業務</p>	B	こ) こども発達支援課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>571千円</td> <td>&lt;863千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	571千円	<863千円>		
26年度予算額	25年度予算額							
571千円	<863千円>							

## 基本目標2

### 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	22	35	0	0

#### 施策の方向 1 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 14 配偶者等からの暴力防止に向けた意識啓発</b>				
講座・講演会等による配偶者からの暴力防止に関する啓発	配偶者等からの暴力(DV)防止と、被害者発見のために、講座・講演会等により意識啓発を進める。	1. 福岡市DV防止講演会 「DVと子どもの虐待」 講師：山本 恒雄氏(日本子ども家庭総合研究所子ども家庭福祉研究部家庭福祉担当部長) 参加者数：117人(110人)  2. 講座 「夫・パートナーとの関係を考える ～これってDV～」 講師：アミカス相談員 参加者数：10人(15人)	A	市) 事業推進課 こ) こども家庭課
		予 算 額 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">26年度予算額 100千円</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">25年度予算額 &lt;128千円&gt;</td> </tr> </table>		
26年度予算額 100千円	25年度予算額 <128千円>			
市政だよりやホームページ等を活用した広報、啓発	配偶者等からの暴力(DV)防止と、被害者発見のために、様々な機会をとらえて意識啓発を進める。	○市政だより、ホームページ、配偶者暴力相談支援センターカード・リーフレット・ステッカーの配布を行い、DV防止と相談窓口の啓発を行った。 <平成25年度> ・市ホームページ(WEB版・携帯電話版)への掲載 ・配偶者暴力相談支援センターカード・リーフレット・ステッカー配布 ・デートDV防止啓発ポスター配布 <平成26年度> ・市ホームページ(WEB版・携帯電話版)への掲載 ・配偶者暴力相談支援センターカード・リーフレット・ステッカー配布 ・デートDV防止啓発ポスター配布	B	市) 事業推進課 こ) こども家庭課
		予 算 額 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">26年度予算額 -</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">25年度予算額 &lt;479千円&gt;</td> </tr> </table>		
26年度予算額 -	25年度予算額 <479千円>			
高校生等の若年層に向けたデートDV(交際相手からの暴力)に関する教育啓発	高校生等の若年層のDVに関する理解を深め、DVの未然防止に取り組む。	市立高校4校で、デートDV防止教育講演会を行った。 ・参加者数：1,238人(1,232人)	B	こ) こども家庭課
		予 算 額 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">26年度予算額 216千円</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">25年度予算額 &lt;216千円&gt;</td> </tr> </table>		
26年度予算額 216千円	25年度予算額 <216千円>			
相談窓口情報を掲載したカード、リーフレットの作成、配布	配偶者等からの暴力(DV)防止と、被害者発見のために、DVに関する意識啓発と相談窓口の周知を行う。	○アミカス相談室リーフレット配布 作成3,000部(3000部)  ○配偶者暴力相談支援センターカード・リーフレット・ステッカーの配布 ・配布数：10,000部(10,000部) ・配布先：市施設、保育園、幼稚園、大学、各種支援団体 医療機関、県警、遊技業協同組合 など	B	市) 事業推進課 こ) こども家庭課
		予 算 額 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">26年度予算額 408千円</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">25年度予算額 &lt;409千円&gt;</td> </tr> </table>		
26年度予算額 408千円	25年度予算額 <409千円>			

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 15 相談体制の充実</b>				
配偶者暴力相談支援センターにおける相談	専用電話による相談を行い、各区保健福祉センター、アミカスと連携し、被害者の相談から自立支援までの切れ目のない支援を目指す。	配偶者暴力相談支援センターにおいてDV被害相談を実施した。 ・相談件数 420件(416件) ・うちDV相談件数 347件(371件)	B	こ) こども家庭課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>26年度予算額 3,429千円</td> <td>25年度予算額 (3,613千円)</td> </tr> </table>		
予 算 額				
26年度予算額 3,429千円	25年度予算額 (3,613千円)			
区保健福祉センターこども相談係・家庭児童相談室における相談	身近な相談窓口としての機能を充実し迅速かつ的確な対応を目指す。	婦人保護相談 延べ件数 6,201件(5,449件) 母子・父子自立相談 延べ件数 8,095件(8,409件) 家庭児童相談 延べ件数 17,458件(14,702件) うち、DV相談 延べ件数 3,121件(2,894件) (※婦人保護相談に含む)	B	こ) こども家庭課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>26年度予算額 99,385千円</td> <td>25年度予算額 (94,389千円)</td> </tr> </table>		
予 算 額				
26年度予算額 99,385千円	25年度予算額 (94,389千円)			
アミカス相談室	日常生活の中で直面する様々な問題について相談員などが相談を受け、問題解決に向けて援助する。	(1)相談業務 ①総合相談(相談・面接) ②アミカスDV相談ダイヤル ③法律相談 ④男性のための相談ホットライン (2)講座などによる啓発活動 ①法律講座 年3回(4回) 参加者 延べ79名(76名) ②グループワーク 年2講座12回 参加者 延べ53人(60人) ③DV講座 2回(2回) 参加者14名(15名) ④自主グループ支援 11回(6回)31人(24人) (3)相談員の会議・研修 ①DV相談窓口の相談員連絡会議 1回(1回) ②事例検討・研修会 年5回(5回) <事業実績> ○相談件数 4,878件(4,210件) うち、DV相談 871件(796件)	B	市) 事業推進課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>26年度予算額 23,757千円</td> <td>25年度予算額 (23,563千円)</td> </tr> </table>		
予 算 額				
26年度予算額 23,757千円	25年度予算額 (23,563千円)			
男性のための相談ホットライン	男性が抱える様々な問題に男性相談員が相談に応じる。	男性が抱える様々な問題に男性相談員が相談に応じる。 月3回(2時間) 相談員:臨床心理士等の男性相談員 相談件数: 56件(51件)	B	市) 事業推進課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>26年度予算額 444千円</td> <td>25年度予算額 (198千円)</td> </tr> </table>		
予 算 額				
26年度予算額 444千円	25年度予算額 (198千円)			
精神保健相談	市民および関係者が本事業を知り活用する。	DVIに関する相談 45件(43件) 全相談件数 70,446件(70,884件)	B	保) 保健予防課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>26年度予算額 12,947千円</td> <td>25年度予算額 (8,368千円)</td> </tr> </table>		
予 算 額				
26年度予算額 12,947千円	25年度予算額 (8,368千円)			

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
法的助言が必要な被害者に対する法律相談	被害者に無料法律相談を実施し、被害者の自立支援を進める。	<p>○アミカス 夫婦や親子間・相続、金銭、不動産などについて、女性弁護士が相談に応じる。 昼間：月4回(1人30分×6人) 夜間：月1回(1人30分×4人) 実績：260件&lt;250件&gt;(内 DVに関する相談 23件&lt;32件&gt;)</p> <p>○配偶者暴力相談支援センター 法的な助言が必要なDV被害者に対して、弁護士による法律相談を実施。 法律相談件数 40件&lt;47件&gt;</p>	A	市) 事業推進課 こ) こども家庭課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>519千円</td> <td>&lt;1,822千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	519千円	<1,822千円>		
26年度予算額	25年度予算額							
519千円	<1,822千円>							
相談員研修の充実	相談員のスキル向上を図り、的確な被害者支援を行う。	<p>○アミカス ①DV相談窓口の相談員(家児相、配暴センター、アミカス)対象の事例検討会(スーパーバイズ) 年3回&lt;3回&gt; ②アミカス相談室の相談員対象の事例検討会(スーパーバイズ) 年2回&lt;2回&gt;</p> <p>○こども家庭課主催研修等 市関係職員、母子生活支援施設職員などに対して、DVに関する研修を実施。 ・研修内容：DV被害者支援を考える(講義とグループワーク) ・参加者数： 31名&lt;26名&gt;</p> <p>○国、県等主催研修への参加 ・アミカス相談員 延べ 8人&lt;6人&gt; ・区家庭相談員 延べ 99人&lt;89人&gt; ・配暴センター相談員 延べ 18人&lt;16人&gt;</p>	B	市) 事業推進課 こ) こども家庭課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>162千円</td> <td>&lt;158千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	162千円	<158千円>		
26年度予算額	25年度予算額							
162千円	<158千円>							
配偶者等からの暴力相談・支援に関わる職員に対する研修の推進	関係職員のスキル向上を図り、的確な被害者支援を行う。	<p>市民と直接接する機会が多い地域の民生委員等を対象に研修講師を派遣。また、出前講座を実施。 ・実施回数：6回&lt;8回&gt; ・参加人数：208人&lt;197人&gt;</p>	B	こ) こども家庭課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>144千円</td> <td>&lt;144千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	144千円	<144千円>		
26年度予算額	25年度予算額							
144千円	<144千円>							
相談員連絡会議における情報交換等による連携強化	関係機関が連携して被害者の立場に立った切れ目のない支援を行う。	<p>○こども家庭課 各区家庭児童相談室・配偶者暴力相談支援センター・アミカス相談室の相談員連絡会議 年1回&lt;1回&gt;</p>	B	市) 事業推進課 こ) こども家庭課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>&lt;2千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	<2千円>		
26年度予算額	25年度予算額							
-	<2千円>							
<b>具体的施策 16 保護体制の充実</b>								
危機が急迫している場合の被害者及び同伴の子どもの安全確保及び一時保護	迅速かつ的確な対応を行う。	<p>家庭内で暴力等をうけた母子等を緊急かつ一時的に保護した。 県・市・民間施設での保護世帯数 82世帯&lt;67世帯&gt;</p>	A	こ) こども家庭課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>7,159千円</td> <td>&lt;7,781千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	7,159千円	<7,781千円>		
26年度予算額	25年度予算額							
7,159千円	<7,781千円>							
シェルターを運営する民間支援団体の活動支援	民間シェルターを支援し、連携して被害者の保護・支援に取り組む。	<p>DV被害者保護のためのシェルターを運営している民間団体に対して、補助金を交付した。 2団体への補助金交付 1,000千円&lt;1,000千円&gt;</p>	A	こ) こども家庭課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>1,000千円</td> <td>&lt;1,000千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	1,000千円	<1,000千円>		
26年度予算額	25年度予算額							
1,000千円	<1,000千円>							

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
<b>具体的施策 17 被害者の自立のための支援</b>					
市営住宅入居における優遇措置及び一時使用制度の利用		<p>市営住宅優先入居</p> <p>○市営住宅の入居者募集において、DV被害者を優遇することで、居住の安定を図り、その自立を支援する。 利用件数 5件&lt;2件&gt;</p> <p>○配偶者からの暴力(DV)被害者の居住の安定を図り、その自立を支援する観点から、目的外使用により住宅を使用させる。 利用件数 17件&lt;7件&gt;</p>	A	住都) 住宅管理課	
		予 算 額			
		26年度予算額	25年度予算額		
		-	-		
ひとり親家庭支援センターにおける就業支援の利用(就業支援講習会、就業相談、無料職業紹介、自立支援プログラム策定事業)	今後も当該サービスを継続して実施する。	<p>ひとり親家庭支援センター</p> <p>ひとり親家庭及び寡婦の各種相談や就業支援講習会等を行い、ひとり親家庭及び寡婦の自立を支援する。 就職者数:159人&lt;184人&gt;</p> <p>内訳(重複計上あり)</p> <p>就業支援講習会: 53人&lt;58人&gt; 就業相談: 159人&lt;143人&gt; 無料職業紹介:3人&lt;4人&gt; プログラム策定事業:40人&lt;37人&gt;</p>	A	こ) こども家庭課	
		予 算 額			
		26年度予算額	25年度予算額		
		56,583千円	<58,749千円>		
アミカスにおける就業支援の利用(女性の就職支援セミナー、就業相談、資格取得・技能習得講座)	女性の再就職や職業能力の向上を支援するための講座を開催する。	<p>1. 女性の就職支援セミナー:年9回 延べ72人参加 (セミナー参加者のうち、20人がシティハローワークみなみで個別相談)</p> <p>2. お仕事再開プチサロン:年2回 14人参加</p> <p>3. 資格取得(福岡地区職業訓練協会と共同主催) 商業簿記、ファイナンシャルプランナー、色彩検定 パソコンワード、パソコンエクセル、パソコンパワーポイント</p>	B	市) 事業推進課	
		予 算 額			
		26年度予算額	25年度予算額		
		-	-		
法的助言が必要な被害者に対する法律相談	被害者に無料法律相談を実施し、被害者の自立支援を進める。	<p>(具体的施策 15再掲)</p> <p>○アミカス 夫婦や親子間・相続、金銭、不動産などについて、女性弁護士が相談に応じる。 昼間:月4回(1人30分×6人) 夜間:月1回(1人30分×4人) 実績:260件&lt;250件&gt;(内 DVに関する相談 23件&lt;32件&gt;)</p> <p>○配偶者暴力相談支援センター 法的な助言が必要なDV被害者に対して、弁護士による法律相談を実施。 法律相談件数 40件&lt;47件&gt;</p>	A	市) 事業推進課 こ) こども家庭課	
心理的ケアが必要な被害者に対するカウンセリング	配偶者等からの暴力被害者に対して、臨床心理士等によるカウンセリングを実施し、被害者の精神的負担の軽減を図る。	<p>○アミカス相談室</p> <p>・総合相談におけるDV相談への対応 カウンセリング 209回&lt;237回&gt;</p>	B	市) 事業推進課	
		予 算 額			
		26年度予算額	25年度予算額		
		-	<288千円>		
アミカスDV被害者支援のためのグループワーク	DVに悩んでいる(いた)人たちが、ワークを通して支え合い、相談者の精神的な安定や自立した生活の実現を目指す。	<p>DVで悩んでいる人達が、語り合う、ワークを通して気持ちの対処などについて学ぶ。 グループワーク 年2講座(12回) 参加者 延べ53人&lt;60人&gt;</p>	B	市) 事業推進課	
		予 算 額			
		26年度予算額	25年度予算額		
		-	-		

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 18 関係団体との連携</b>				
福岡市女性に対する暴力防止連絡会議による国、県、民間団体等との連携	関係機関のスムーズな連携により、DVの予防啓発に各機関が協力して取り組むとともに、相談者に対してより効果的な支援が出来るようになることを目指す。	開催回数:1回<1回> 委員構成:(外部)10機関・団体<10機関・団体> (市内部)5所屬<5所屬> (オブザーバー)1機関<1機関> 内容:・福岡市DV防止講演会の共催について ・福岡市におけるDV相談等について ・「福岡市男女共同参画社会に関する意識調査」の結果について ・各機関の取り組みについて	B	こ) こども家庭課
		予 算 額 26年度予算額 66千円 25年度予算額 <66千円>		
相談や支援に関わる庁内関係各課の連絡会議や情報交換による連携	関係職員のスキル向上を図り、的確な被害者支援を行う。	○配偶者暴力相談支援センター 市関係職員、母子生活支援施設職員などに対して、DVに関する研修を実施。 ・研修内容:DV被害者支援を考える<講義とグループワーク> ・参加者数: 31名<26名>	B	こ) こども家庭課
		予 算 額 26年度予算額 81千円 25年度予算額 <81千円>		

**施策の方向 2 セクシュアル・ハラスメント等及び性犯罪の防止**

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 19 セクシュアル・ハラスメント等の防止に向けた広報・啓発</b>				
勤労者総合啓発事業	勤労者総合啓発誌「働くあなたのガイドブック」をできるだけ多くの窓口に配布し、労働関係の法令や助成制度、窓口の基礎知識の周知に努める。	労働関係法令や雇用安定・創出のための助成制度、市内の雇用・労働に関する相談窓口等を掲載した勤労者総合啓発誌を作成し、市民をはじめ労働団体や企業等に配布することにより、勤労者の福祉の向上を図る。  【平成26年度】 ・作成部数:1,000部(増刷) ・配布部数:2,625部 ・配布先:市関係施設、国・県の関係施設、短大など	A	経) 就労支援課
		予 算 額 26年度予算額 100千円 25年度予算額 <650千円>		
<b>具体的施策 20 市職員のセクシュアル・ハラスメントの防止</b>				
相談窓口	職員の意識啓発を図るとともに、苦情相談の対応を行う。	○事業実績 1 職員向けの啓発パンフレットの周知 2 研修センターにおける階層別研修の実施 3 コンプライアンス・安全衛生課(安全衛生係)と各任命権者にセクハラに関する相談窓口を設置  ○セクハラ的苦情相談件数 市長事務部局 3 計3件 <市長事務部局 2 計2件>	B	総) コンプライアンス・安全衛生課 消) 職員課 水) 総務課 交) 総務課 教) 職員課 教) 教職員課
		予 算 額 26年度予算額 - 25年度予算額 -		

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
各種セクシュアル・ハラスメント防止研修	階層別研修において、セクシュアルハラスメント防止に関する科目・内容を実施し、セクシュアル・ハラスメントがない職場づくりを支援する。	<p>○研修名：人権行政課長研修 科目名：「人権ワークショップ」 対象者：課長級昇任2年目77名&lt;76名&gt; 内容：外部講師による講演・ワーク</p> <p>○研修名：人権行政係長研修 科目名：「男女共同参画は出来ている？」 対象者：係長級昇任2年目233名&lt;219名&gt; 内容：所管課による講義</p> <p>○研修名：総括主任研修 科目名：「公務員倫理」 対象者：総括主任級昇任者等200名&lt;199名&gt; 内容：所管課による講義</p> <p>○研修名：主任研修 科目名：「公務員倫理」 対象者：主任級昇任者等175名&lt;184名&gt; 内容：所管課による講義</p> <p>○研修名：人権行政採用2年目研修 科目名：「人権ワークショップ」 対象者：採用2年目職員336名&lt;330名&gt; 内容：外部講師による講演・ワーク</p> <p>○研修名：新規採用職員研修(社会人経験者、中途採用者含む) 科目名：「公務員倫理(職員の責務)」・「人権学習」 対象者：新規採用職員351名&lt;332名&gt; 内容：所管課による講義</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-	A	(総) 人材育成課
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
職場研修支援	人権尊重の視点から、人権に関する職場研修のテーマのひとつに提示したり、ビデオ等の教材を貸し出すことにより職場研修を支援する。	<p>○講師の紹介等研修情報の提供やDVD等の貸出</p> <p>○職場研修を実施する際に講師謝礼の経費を援助</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>3,630千円</td> <td>4,600千円</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	3,630千円	4,600千円	A	(総) 人材育成課
26年度予算額	25年度予算額							
3,630千円	4,600千円							
セクシュアル・ハラスメント防止研修	継続して研修を実施することにより、職員の意識の向上を図る。	<p>職場研修で、局内の29所屬において男女共同参画(人権、セクシュアルハラスメント等)に係る問題について研修を実施した。 参加者：657名(79回実施) 【職員567名、嘱託員82名、臨時職員8名】</p> <p>&lt;平成25年度 局内27所屬, 参加者：656名(79回実施)&gt;</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-	A	(交) 総務課教習所
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
<b>具体的施策 21 教育現場におけるセクシュアル・ハラスメントの防止</b>								
セクシュアル・ハラスメント防止に関する研修	教育現場におけるセクシュアル・ハラスメントをなくす。	<p>・セクシュアル・ハラスメント防止に関する研修を全市立学校で実施</p> <p>・綱紀肅正の通知において、セクシュアル・ハラスメントの防止について全市立学校を指導</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-	B	教委) 教職員課
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							



基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
<b>具体的施策 22 相談の充実</b>						
アマカス相談室	日常生活の中で直面する様々な問題について相談員などが相談を受け、問題解決に向けて援助する。	(具体的施策 15再掲) (1)相談業務 ①総合相談(相談・面接) ②アマカスDV相談ダイヤル ③法律相談 ④男性のための相談ホットライン (2)講座などによる啓発活動 ①法律講座 年3回(4回) 参加者 延べ79名(76名) ②グループワーク 年2講座12回 参加者 延べ53人(60人) ③DV講座 2回(2回) 参加者14名(15名) ④自主グループ支援 11回(6回)31人(24人) (3)相談員の会議・研修 ①DV相談窓口の相談員連絡会議 1回(1回) ②事例検討・研修会 年5回(5回) 〈事業実績〉 ○相談件数 4,878件(4,210件) うち、DV相談 871件(796件)	B	市) 事業推進課		
人権啓発相談室	同和問題をはじめ様々な人権問題に関する相談を受け付ける。	人権相談について、福岡人権擁護委員協議会へ依頼し、人権擁護委員(人権相談員)を週5日配置した。 ・人権相談件数184件(216件) うち女性問題の相談件数6件(12件)	A	市) 人権啓発センター		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>37,318千円</td> <td>〈37,123千円〉</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
26年度予算額	25年度予算額					
37,318千円	〈37,123千円〉					
教育実習生に対するセクハラ相談窓口	教育実習生に対するセクハラ根絶	教育実習生対象のセクハラ相談窓口の周知	B	教委) 教職員課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
26年度予算額	25年度予算額					
-	-					
<b>具体的施策 23 性犯罪被害の防止及び犯罪被害者の支援</b>						
性犯罪抑止啓発事業	性犯罪認知件数の減少(政令市における人口千人あたりワースト10位以下)	○性犯罪防止講座の実施 開催回数:29回 参加人数:2,470名 ○性犯罪防止シンボルマークを活用した啓発物(リーフレット・ポスター等)の作成及び配布 ○官民共同で組織する「女性・子ども安全安心ネットワークふくおか」への参加及び啓発活動の実施 ○市内の中学3年生を対象とした、性犯罪抑止等の啓発漫画冊子の作成及び配布	B	市) 生活安全課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>1,659千円</td> <td>〈3,400千円〉</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
26年度予算額	25年度予算額					
1,659千円	〈3,400千円〉					
犯罪被害者対策	犯罪被害者の相談体制の強化  犯罪被害者支援に係る関係機関、関係課の連携強化	○犯罪被害者のための総合相談窓口の運営 福岡県、福岡市、北九州市3者の共同事業として「福岡犯罪被害者総合サポートセンター」を運営 ○性犯罪被害者のための相談窓口の運営 福岡県、福岡市、北九州市3者の共同事業として「性暴力被害者支援センター・ふくおか」を運営	B	市) 生活安全課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>5,072千円</td> <td>〈3,105千円〉</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
26年度予算額	25年度予算額					
5,072千円	〈3,105千円〉					

### 施策の方向 3 生涯にわたる健康支援

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<b>具体的施策 24 青少年への意識啓発</b>								
思春期相談		<p>思春期集団支援事業の実施や関係機関との連携による思春期の子どもたちへの相談体制の充実を図るもの。</p> <p>○思春期集団支援事業 思春期後半の心のケアを必要とするひきこもり気味の子どもたちが社会的自立支援の場として利用している。 実施回数：141回&lt;140回&gt; 参加者数：1,339人&lt;800人&gt;</p> <p>○思春期相談関連懇話会 思春期相談に関わる関係機関等の連携強化を図る。 2回開催&lt;2回&gt;</p>	B	こ) こども相談課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"><b>26年度予算額</b></td> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13,953千円</td> <td style="text-align: center;">&lt;13,870千円&gt;</td> </tr> </table>	<b>26年度予算額</b>	25年度予算額	13,953千円	<13,870千円>		
<b>26年度予算額</b>	25年度予算額							
13,953千円	<13,870千円>							
思春期ひきこもり等相談事業 ※事業名修正		<p>思春期後半のひきこもりの子どもの家庭に思春期訪問相談員を派遣し、状態の改善を図ることを目的としたもの。</p> <p>○ひきこもり等の子どもへの相談員派遣事業 派遣件数：4件&lt;6件&gt;、派遣回数：60回&lt;77回&gt; 派遣相談員養成講座：4回80人&lt;5回 90人&gt;</p> <p>○ひきこもり等ピアサポーター交流・研修会 実施回数：2回&lt;2回&gt;、参加者数：28人&lt;28人&gt;</p> <p>○ひきこもり等保護者交流会 実施回数：4回&lt;4回&gt;、参加者数：54人&lt;59人&gt; 保護者交流会登録者数：56人&lt;60人&gt;</p> <p>○思春期ひきこもり講演会 実施回数：1回&lt;1回&gt;、参加者数：61人&lt;52人&gt;</p>	B	こ) こども相談課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"><b>26年度予算額</b></td> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">907千円</td> <td style="text-align: center;">&lt;917千円&gt;</td> </tr> </table>	<b>26年度予算額</b>	25年度予算額	907千円	<917千円>		
<b>26年度予算額</b>	25年度予算額							
907千円	<917千円>							
女の子専用相談電話		<p>女の子専用相談電話を設置し、女の子本人からの相談を女性相談員が受ける。 ※具体的施策番号36「こども総合相談センター総合相談事業」の中の一事業。 相談受理件数：538件&lt;450件&gt;</p> <p>予算額：具体的施策番号36 こども総合相談センター総合相談事業参照</p>	A	こ) こども相談課				
		<p>予算額(具体的施策番号36こども総合相談センター総合相談事業参照)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"><b>26年度予算額</b></td> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">427,824千円</td> <td style="text-align: center;">&lt;461,785千円&gt;</td> </tr> </table>	<b>26年度予算額</b>	25年度予算額	427,824千円	<461,785千円>		
<b>26年度予算額</b>	25年度予算額							
427,824千円	<461,785千円>							
性感染症予防対策		<p>各区保健所に希望のあった学校へ、「性感染症予防教室」という形で保健所医師等が講師となり、HIV感染やエイズ、性感染症予防についての教室を実施。</p> <p>○実施校(26年度) 小学校：1校90名&lt;実施なし&gt; 中学校：2校203名&lt;5校914名&gt; 高等学校：5校533名&lt;9校1,468名&gt; 専門学校短大等：実施なし&lt;実施なし&gt; 養護教諭：1回18名&lt;1回22名&gt;</p>	B	保) 保健予防課				
		<p>予 算 額(エイズ対策費)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"><b>26年度予算額</b></td> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">66千円</td> <td style="text-align: center;">&lt;78千円&gt;</td> </tr> </table>	<b>26年度予算額</b>	25年度予算額	66千円	<78千円>		
<b>26年度予算額</b>	25年度予算額							
66千円	<78千円>							

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
性教育の手引きに基づく指導	性教育の手引き「すばらしい成長」を活用した性教育の推進 (小・中)	健康教育年間計画を作成し、「性教育の手引き」を活用し、発達段階に応じた性教育(小, 中)を実施。  「性教育の手引き」内容 ①性教育の考え方, 進め方 ②小・中学校における指導の実際 ③Q&A ④個別指導について 各小・中学校に対し配付。  予 算 額 26年度予算額 - 25年度予算額 -	A	教) 学校指導課
性に関する指導者研修会の開催	性に関する指導者研修会の参加率の向上  各学校1名以上の参加	○性に関する指導者研修会の実施 場 所:教育センター 実施日:平成26年8月28日<平成25年8月30日> 参加者:市内全小, 中, 高, 特別支援学校, 幼稚園の担当者 (※各校担当者1名)  予 算 額 26年度予算額 - 25年度予算額 -	B	教) 学校指導課
情報モラル教育の推進	情報モラル指導を全小・中・高等学校で実施し, 児童生徒の意識を高める。	○情報モラル指導の実施率 小学校:100%<100%> 中学校:100%<100%> 高等学校:100%<100%>  インターネット・携帯電話等を介した児童生徒の被害防止のために, 保護者を対象とした情報モラルに関する啓発活動を全校で実施  予 算 額 26年度予算額 - 25年度予算額 -	B	教) 学校指導課
<b>具体的施策 25 母性機能の社会的重要性に関する認識の浸透</b>				
マタニティスクール	母性機能の保護の必要性についての認識を広く浸透させる。	妊婦及びその家族に対して妊娠・出産・育児に対する知識の普及を行う。また,計画出産のための正しい知識と技術の普及を行う。  開設回数 257回<257回> 参加者数 (実)1,065人<1,101人> (延)2,951人<2,977人>  予 算 額 ※予算額は一般母子相談事業の額 26年度予算額 74,100千円 25年度予算額 <64,097千円>	A	こ) こども発達支援課

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
働くママとパパのママニティスクール	働く夫婦を対象に保健所で実施されているママニティスクールを補てんするため実施する。	<p>年10回開催 「妊娠中の身体づくり、分娩について」 「沐浴の説明とデモンストレーション」 「妊婦体験」 「育児体験とグループワーク」</p> <p>参加者数：350名&lt;284名&gt;</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>992千円</td> <td>&lt;661千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	992千円	<661千円>	B	<p>こ) こども発達支援課</p> <p>※委託先 福岡県助産師会</p>
26年度予算額	25年度予算額							
992千円	<661千円>							
勤労者総合啓発事業	勤労者総合啓発誌「働くあなたのガイドブック」をできるだけ多くの窓口に配布し、労働関係の法令や助成制度、窓口の基礎知識の周知に努める。	<p>(具体的施策 19再掲) 労働関係法令や雇用安定・創出のための助成制度、市内の雇用・労働に関する相談窓口等を掲載した勤労者総合啓発誌を作成し、市民をはじめ労働団体や企業等に配布することにより、勤労者の福祉の向上を図る。</p> <p>【平成26年度】 ・作成部数：1,000部(増刷) ・配布部数：2,625部 ・配布先：市関係施設、国・県の関係施設、短大など</p>	A	経) 就労支援課				
<p><b>具体的施策 26 出産前後の女性の健康管理の支援</b></p>								
妊婦健康診査	妊産婦に対する健康管理の充実を図るため、健康診査を実施する。	<p>妊婦の健康管理の充実を図るため、医療機関で健康診査を実施している。平成21年度より助成回数を14回に拡充。</p> <p>○妊婦一般健康診査 助成回数 14回&lt;14回&gt; 延べ受診者数 187,697人&lt;185,053人&gt;</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>1,381,492千円</td> <td>&lt;1,362,489千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	1,381,492千円	<1,362,489千円>	A	こ) こども発達支援課
26年度予算額	25年度予算額							
1,381,492千円	<1,362,489千円>							
母子巡回健康相談	1回の平均相談者数を16年度の初期値44.4人から増加させる。	<p>母親の妊娠、出産、育児に関する不安や悩みを解消し、さらに母子の健全育成を図るため、公民館などの市民の身近な場所で健康相談と「親子歯科保健教室」などの健康教育を行う。</p> <p>出勤回数 467回&lt;467回&gt; 相談総数 19,962件&lt;20,788件&gt;</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>24,422千円</td> <td>&lt;24,408千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	24,422千円	<24,408千円>	A	こ) こども発達支援課
26年度予算額	25年度予算額							
24,422千円	<24,408千円>							
母親の心の健康支援事業	<p>育児に「心配がある(13年度初期値43%)」、「疲れた(13年度初期値23.6%)」と答えた母親の割合：減少</p> <p>育児は「楽しい(13年度初期値82.6%)」と答えた母親の割合：増加</p>	<p>母子保健訪問において、母親の心の健康状態の把握に努めている。その際、継続的な支援が必要な場合には、母子訪問指導員(助産師)及び校区担当保健師による継続訪問を行う。また、必要に応じ具体的な育児指導等を行う「こども家庭支援員」の派遣も行っている。</p> <p>継続訪問 517件&lt;486件&gt;(実数) 子ども家庭支援員派遣 92家庭&lt;136家庭&gt;(実数)</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>10,246千円</td> <td>&lt;9,083千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	10,246千円	<9,083千円>	A	こ) こども発達支援課
26年度予算額	25年度予算額							
10,246千円	<9,083千円>							

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
特定不妊治療費助成事業	不妊に悩む夫婦の精神的負担を軽減するため、医学的な相談や心の悩みに応じるとともに、経済的負担の軽減をはかる。	<p>子どもを望む夫婦に対し、特定不妊治療費の一部を助成するもの。また、不妊に関する悩みや相談を専門医師または助産師等により相談を行った。</p> <p>○特定不妊治療費助成 年度内に指定医療機関で特定不妊治療を受けた夫婦に対し、費用の一部(以下)を助成。 →特定不妊治療費にかかる費用の全額(※保険診療を除く)→15万円(一部の治療は7.5万円) のどちらか低い額を、初年度は年3回まで、2年度目以降は年2回を限度に通算5年度・通算10回まで助成。</p> <p>助成人数 1,264人 &lt;1,131人&gt; 専門相談件数 14件 &lt;13件&gt; 一般相談件数 3,411件 &lt;3,116件&gt;</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>256,505千円</td> <td>&lt;220,131千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	256,505千円	<220,131千円>	A	こ) こども発達支援課
26年度予算額	25年度予算額							
256,505千円	<220,131千円>							
妊婦歯科健康診査	女性の生涯を通じた歯の健康、及び赤ちゃんの健やかな成長のため、妊婦を対象に、むし歯と歯周疾患予防のための歯科健診を実施する。また、その結果に基づき、早期治療の推奨や適切な保健指導を行う。	<p>受診者数:3,928人 受診率:25.32 % &lt;受診者数:3,545人 受診率:22.89%&gt;</p> <p>対象者:福岡市内在住の妊婦 実施回数:妊娠期間中に1回 ※平成24年度から自己負担額無料。</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td></td> <td>&lt;220,131千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額		<220,131千円>	B	保) 口腔保健支援センター
26年度予算額	25年度予算額							
	<220,131千円>							
<p>具体的施策 27 ライフステージに応じた心身の健康管理の支援</p>								
マンモグラフィによる乳がん検診	がん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康知識の普及及び啓発を図る。	<p>受診者数:24,952人 受診率:19.0% &lt;受診者数:20,802人 受診率:17.2%&gt;</p> <p>平成21～25年度は、女性特有のがん健診推進事業として、40、45、50、55、60歳の方に対し、乳がん検診無料クーポン券及び検診手帳を送付。</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>129,359千円</td> <td>&lt;134,512千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	129,359千円	<134,512千円>	B	保) 健康増進課
26年度予算額	25年度予算額							
129,359千円	<134,512千円>							
精神保健相談及びうつ病予防対策	<p>市民および関係者が本事業を知り活用する。</p> <p>うつ病に関する普及啓発をすすめる。</p>	<p>○精神保健相談: 1 専門医による定例相談 305人&lt;201人&gt; 2 相談員による常時相談 70,446人&lt;69,517人&gt;</p> <p>○うつ病予防対策(自殺予防対策事業) 1 うつ病に関する教室、講座等を各区保健福祉センターで開催。 全98回2,470人&lt;全107回2,517人&gt;</p> <p>予 算 額(※一般精神保健相談等事業、自殺予防対策事業)</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>38,770千円</td> <td>&lt;29,311千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	38,770千円	<29,311千円>	B	保) 保健予防課
26年度予算額	25年度予算額							
38,770千円	<29,311千円>							
心の健康づくり事業		<p>○心の健康づくり講演会の実施 1回 参加者数(延べ)216人 &lt;1回 参加者数(延べ)199人&gt;</p> <p>○職場のメンタルヘルス向上(講師紹介・派遣) 4回 参加者数(延べ)146人 &lt;5回 参加者数(延べ)197人&gt;</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>651千円</td> <td>&lt;744千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	651千円	<744千円>	B	保) 精神保健福祉センター
26年度予算額	25年度予算額							
651千円	<744千円>							
こころの健康相談事業		<p>こころの健康(悩みや不安)に関する多様な相談に対応。 相談件数 電話3,290件&lt;3,281件&gt; 面接277件&lt;465件&gt;</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>15,448千円</td> <td>&lt;15,179千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	15,448千円	<15,179千円>	B	保) 精神保健福祉センター
26年度予算額	25年度予算額							
15,448千円	<15,179千円>							

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
ひきこもり相談		<p>「社会的ひきこもり」の面接相談を受け、必要な助言・支援を行う。</p> <p>○精神保健福祉センター 相談件数 延べ31件(26件)</p> <p>○ひきこもり成年地域支援センター 相談件数 延べ2,081件(2,098件)</p>	B	(保) 精神保健福祉センター				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>14,119千円</td> <td>13,831千円</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	14,119千円	13,831千円		
26年度予算額	25年度予算額							
14,119千円	13,831千円							
健康管理の支援のための講座		<p>「区民と医師との会」公開講演会 全2回(2回)</p> <p>◆人生は腸で決まる！免疫力アップで強いカラダへ 講師：壁村哲平(福岡市医師会成人病センター院長) コーディネーター：野口秀哉(福岡市南区医師会副会長)</p> <p>◆満足して大往生する10の条件 講師：長尾和宏(長尾クリニック院長)</p> <p>参加者数：延べ563人(290人) 共同主催：南区医師会「区民と医師との会」</p>	A	(市) 事業推進課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
☆アミカス講座								
アミカス相談室	日常生活の中で直面する様々な問題について相談員などが相談を受け、問題解決に向けて援助する。	<p>(具体的施策 15再掲)</p> <p>(1)相談業務 ①総合相談(相談・面接) ②アミカスDV相談ダイヤル ③法律相談 ④男性のための相談ホットライン</p> <p>(2)講座などによる啓発活動 ①法律講座 年3回(4回) 参加者 延べ79名(76名) ②グループワーク 年2講座12回 参加者 延べ53人(60人) ③DV講座 2回(2回) 参加者14名(15名) ④自主グループ支援 11回(6回)31人(24人)</p> <p>(3)相談員の会議・研修 ①DV相談窓口の相談員連絡会議 1回(1回) ②事例検討・研修会 年5回(5回)</p> <p>〈事業実績〉 ○相談件数 4,878件(4,210件) うち、DV相談 871件(796件)</p>	B	(市) 事業推進課				
性教育の手引きに基づく指導	性教育の手引き「すばらしい成長」を活用した性教育の推進(小・中)	<p>(具体的施策 24再掲)</p> <p>健康教育年間計画を作成し、「性教育の手引き」を活用し、発達段階に応じた性教育(小、中)を実施。</p> <p>「性教育の手引き」内容 ①性教育の考え方、進め方 ②小・中学校における指導の実際 ③Q&amp;A ④個別指導について 各小・中学校に対し配付。</p>	A	(教) 学校指導課				
性に関する指導者研修会の開催	性に関する指導者研修会の参加率の向上  各学校1名以上の参加	<p>(具体的施策 24再掲)</p> <p>○性に関する指導者研修会の実施 場 所：教育センター 実施日：平成26年8月28日(平成25年8月30日) 参加者：市内全小、中、高、特別支援学校、幼稚園の担当者(※各校担当者1名)</p>	B	(教) 学校指導課				

## 基本目標 3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	40	36	7	0

### 施策の方向 1 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 28 企業等への広報・啓発</b>				
福岡市こども・子育て審議会	新・福岡市子ども総合計画の進捗状況等の協議及び第4次福岡市子ども総合計画の策定	平成25年9月に福岡市児童福祉審議会と福岡市次世代支援推進協議会を統合再編し、設置した。 新・福岡市子ども総合計画の進捗状況の報告、第4次福岡市子ども総合計画策定に関する審議等を行った。 総会3回、専門委員会4回開催 〈総会2回、専門委員会1回開催〉	A	こ) 総務企画課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">26年度予算額 4,433千円</td> <td style="text-align: center;">25年度予算額 〈2,199千円〉</td> </tr> </table>		
予 算 額				
26年度予算額 4,433千円	25年度予算額 〈2,199千円〉			
市民や企業と共働した子育て支援	平成26年度末までに、賛同企業・団体数を1500にする。	子どもの健やかな成長を考える“きっかけ”となるよう、企業・団体に対して、“「い～な」ふくおか・子ども週間♡”賛同を呼びかけた。 ・平成27年3月末現在賛同数 954企業・団体 〈平成26年3月末賛同数 928企業・団体〉 ・働く人の認知度を向上するため、週間に合わせ、市営地下鉄駅構内で通勤時間帯に放送 ・“「い～な」ふくおか・子ども週間”ホームページに賛同企業・団体名及び取り組みを掲載するとともに、呼びかけ強化月間(8～10月)を設定し、市役所全庁に呼びかけ ・ノー残業デーの実施 ・子ども参観日の実施(8月1日)	B	こ) 総務企画課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">26年度予算額 2,176千円</td> <td style="text-align: center;">25年度予算額 〈4,625千円〉</td> </tr> </table>		
予 算 額				
26年度予算額 2,176千円	25年度予算額 〈4,625千円〉			

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
ワーク・ライフ・バランスネットワーク形成事業	ワーク・ライフ・バランスの普及を図るとともに、都市活力の向上を目指す。また、ダイバーシティ（多様性の受容）を図り、すべての人々が活き活きと働くことができる環境づくりを推進する。	<p>○ワーク・ライフ・バランス啓発冊子作成 ワーク・ライフ・バランスの推進や女性の活躍を支援するため、企業において「働き方の見直し」を行い、働きやすい環境づくりに積極的に取り組むよう、企業の経営者層や管理職、従業員向けの冊子を作成した。 冊子は各種セミナーで活用するほか、市HPIにも掲載し、啓発用素材として市民が広く閲覧・利用できるものとした。 ・発行部数 1,500部</p> <p>○経済誌への広告掲載 ワーク・ライフ・バランス推進に取り組む企業の経営者への取材記事を経済誌へ掲載することにより、経営者の啓発をした。</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>7,691千円</td> <td>〈7,990千円〉</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	7,691千円	〈7,990千円〉	C	市) 男女共同参画課
26年度予算額	25年度予算額							
7,691千円	〈7,990千円〉							
企業のワーク・ライフ・バランス支援事業	ワーク・ライフ・バランスを推進するため、企業への意識啓発を図る。	<p>○出前型セミナー「ワーク・ライフ・バランスセミナー」 企業のワーク・ライフ・バランスの普及・促進に向けて、個々の企業のニーズに柔軟に対応できる出前形式のセミナーを実施。 内容 2つのコースから選択 ①初歩から学べる入門編 ②実践につなげる応用編 対象 市内企業 講師 NPO法人ジェンダー研究所 受講企業数 12社&lt;32社&gt;</p> <p>○講演会 テーマ 「社員が輝く！会社も変わる！ダイバーシティと女性活躍の経営戦略」 講師 イオン株式会社ダイバーシティ推進室長 田中 咲氏 株式会社テレワークマネジメント 代表取締役 田澤 由利氏 日時 平成26年11月12日 場所 エルガーラ7F 中ホール 参加者数 110名</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>1,001千円</td> <td>〈678千円〉</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	1,001千円	〈678千円〉	B	市) 男女共同参画課
26年度予算額	25年度予算額							
1,001千円	〈678千円〉							
社会貢献優良企業優遇制度（次世代育成・男女共同参画支援事業分）		<p>社会貢献度の高い地場企業に対して優先指名等の優遇措置を行う社会貢献優良企業優遇制度の対象事業に「次世代育成・男女共同参画支援事業」を設けている。</p> <p>認定企業：87社&lt;73社&gt; 認定期間：H25.8.1～H28.7.31</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-	A	市) 男女共同参画課
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
<p>具体的施策 29 育児・介護休業制度に関する広報と情報提供</p>								
勤労者総合啓発事業	勤労者総合啓発誌「働くあなたのガイドブック」をできるだけ多くの窓口に配布し、労働関係の法令や助成制度、窓口の基礎知識の周知に努める。	<p>（具体的施策 19再掲） 労働関係法令や雇用安定・創出のための助成制度、市内の雇用・労働に関する相談窓口等を掲載した勤労者総合啓発誌を作成し、市民をはじめ労働団体や企業等に配布することにより、勤労者の福祉の向上を図る。</p> <p>【平成26年度】 ・作成部数：1,000部（増刷） ・配布部数：2,625部 ・配布先：市関係施設、国・県の関係施設、短大など</p>	A	経) 就労支援課				





基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
産休・育休を取得予定の女性職員の上 司を対象とした研修	出産前の女性職員の上 司に対する研修を行う ことにより、職員の円 滑な職場復帰とキャリ ア形成を支援するとと もに、職場環境の整備 改善を促す。	「パパママ準備セミナー(上司向け)」を実施。 参加:54名 内容:労務課による説明 (仕事と家庭の両立支援制度) 外部講師による講義 (女性職員の支援, 職場運営のポイント等)	A	総) 人材育成課				
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>26年度予算額 300千円</td> <td>25年度予算額 -</td> </tr> </table>			予 算 額		26年度予算額 300千円	25年度予算額 -
予 算 額								
26年度予算額 300千円	25年度予算額 -							
福岡市特定事業主 行動計画に基づく仕 事と家庭の両立支 援策の推進	①子どもが生まれた男 性職員のうち、育児休 業を取得した市職員の 割合【H26】5%以上 ②子どもが生まれた男 性職員のうち、出産・ 育児支援休暇を取得し た市職員の割合【H 26】90%以上 ③市職員の年次有給休 暇の年間平均取得日数 【H26】16日以上	・年次有給休暇等の取得促進に向けた啓発を行うとともに、年次 有給休暇取得率が低い(5日以下)職場に対するヒアリングを 実施。 1件(2件) ・「時間外勤務の縮減に関する指針」(平成26年4月)に基づき 縮減に向けた取り組みを実施。 本市職員一人あたりの時間外勤務時間数:161時間(H16年度) →136時間(H25年度) ・行動計画における目標数値の実績(H25年度) ①2.3% (2.1%) ②89.8% (95.2%) ③14.8日 (14.9日) ※( )内は24年度実績	B	総) 労務課				
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">26年度予算額</th> <th colspan="2">25年度予算額</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			26年度予算額		25年度予算額	
26年度予算額		25年度予算額						
-	-	-	-					

**施策の方向 2 男性の家庭・地域への参画促進**

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<b>具体的施策 32 男性への意識啓発</b>								
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等  ☆アミカス講座		(具体的施策 30再掲) ○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。 ◆パパと子どものクッキング 全2回(全2回) 講師:横尾妙子(管理栄養士) 参加者数:延べ50人【男:36人,女14人】 <延べ48人【男:34人,女14人】> ◆男性カレッジ 全4回(全4回) 講師:宮原礼智(NPOひとり親支援ネットワークふしぼしねっと代表)ほか 参加者数:延べ141人 <延べ247人>	A	市) 事業推進課				
活力あるまちづくり支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	(具体的施策 9再掲) 活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。  補助金交付団体数 148団体<148団体> (うち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付)	A	市) コミュニティ推進課				
公民館における男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの	公民館主催事業(男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの)実施館数の増加 18館	公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。そのうち主に男性を対象としたもの。 公民館数 12館 < 11館> 回数 30回 < 30回> 参加人数 758人 <663人>	C	市) 公民館調整課				
		予 算 額(予算額は全主催事業の予算)						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"><b>26年度予算額</b></td> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">54,332千円</td> <td style="text-align: center;">&lt;55,139千円&gt;</td> </tr> </table>	<b>26年度予算額</b>	25年度予算額	54,332千円	<55,139千円>		
<b>26年度予算額</b>	25年度予算額							
54,332千円	<55,139千円>							

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	(具体的施策 5再掲) ①定例会の開催(委員:27人) 定例会12回 ②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:270人<310人> 講演:「今どきの子育て世帯が地域を変える!？」 講師:小津 智一 氏 (NPOファザーリング・ジャパン九州代表理事) 演奏会:「スウィング・ストリート・ジャズ・オーケストラ」 ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:271人<370人> テーマ「DVとは そして私たちは」(3回シリーズ) 主催:東区生涯学習推進課 共催:東区企画振興課 協力:東区男女共同参画連絡協議会 ④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:55名<77人> 「ダンボールワークショップ」(地域で参加者を集めやすいイベント体験) 講師:吉田 忠 氏 , 杉山 拓人 氏 (NPOファザーリング・ジャパン九州) ⑤日本女性会議2014札幌(3名参加)<4人> ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会, 演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	(具体的施策 5再掲) ①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 ②男女共同参画講演会(研修会)(参加者64名) テーマ:地域活動における性別役割分担 内 容:寸劇とワークショップ 講 師:アミカス寸劇隊 対 象:校区男女共同参画委員, 自治協議会長, 公民館長・主事, まち館館長 ③日本女性会議への参加(参加者数7名) 分科会・全体会へ参加 ④第2回 男女協サミットへの参加 (各校区代表) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第4ブロック」(参加者74名) ⑥視察研修(参加者数:41名) 視察先:三潁郡大木町 講 師:農事組合法人モア・ハウス代表 大藪佐恵子氏 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り, 各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(17名)	B	博) 企画振興課  ※26年度は地域振興課

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・役員会(月1回程度)の開催 ・定例会(月1回程度)での情報交換 定例会での校区活動報告 区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計2人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画研修会の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:生涯学習・社会システム研究者 三浦 清一郎氏/参加者:75名)</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p>
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成26年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(5月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、11月、1月) 「介護」「防災」「コミュニケーション」など、身近なテーマから男女共同参画について考えるもの 講師による講話やグループワークを実施</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年7回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座【参加者数:36名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②25年度南区男女共同参画事業・活動報告書の作成【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(11回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「上手な男女共同参画の進め方 PART2」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:81名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 校区で男女共同参画を進めるための意識付けのため、区主催で講演会を行うもの。 ・対象:各校区男女協委員,自治協関係者,公民館職員等 【参加人数:145名】 I部 「日本女性会議2014札幌」参加報告 II部 講演「笑って元気 家庭の絆・親子の絆。地域の絆」 ・講師:矢野 大和氏(おおいだ観光特使)</p> <p>③「日本女性会議2014札幌」への派遣 2名</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>早良区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>校区活動の活性化へつなげる活動の支援。  男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 ①早良公民館(Aブロック) 80名(91名) 講師 小ノ上 マン太郎 氏(NPO法人博多笑い塾理事長) テーマ「男と女 笑いでさずく参画社会 ～地域づくり、人づくりを考える～」 ②田隈公民館(Bブロック) 80名(62名) 講師 NPO法人福岡ジェンダー研究所 倉富 史枝 氏 テーマ サンカクいいね!～みんなで語る男女共同参画～ ③原西公民館(Cブロック) 80名(65名) 講師 日高 邦博 氏(主夫) テーマ「主婦と主夫、かなで書けば同じ『しゅふ』 ～思いやりとありがとうのある暮らし～」 ④室見公民館(Dブロック) 80名(71名) テーマ 身近なことで考えてみよう参画社会を アミカス寸劇隊による『息子夫婦・娘夫婦』&amp;ワークショップ 2. 日本女性会議2014札幌参加(委員4名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 第1回 80名(4名) テーマ「地域での男女共同参画の推進について ～事例紹介と情報交換会～」 講師 佐藤 倫子氏(ファシリテーター・Edu代表世話人) 第2回 60名(54名) テーマ「男女共同参画形成のために」 講師 柳 淑子氏 (リプロダクティブ・ヘルス/ライツと環境を考える会事務局長) 5. 早良区男女共同参画講演会 184名 「まじめに笑って考えよう! 男女共同参画で考える 地域と家庭と未来」 講師:瀬地山 角氏(東京大学大学院総合文化研究科 教授) 6. 早良区スポーツ&amp;フードフェスタ 「福岡マラソン2014」のファンランフィニッシュ地点で開かれた 「早良区スポーツ&amp;フードフェスタin百道浜」にて パネル展示を通して男女共同参画の啓発を行った。</p>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課</p>
<p>西区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。委員交流会・意見交換会やフェスティバルの開催及び広報紙を発行した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画推進奨励賞等を実施した。 1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2014 「かたり合い、笑顔でつなぐ 地域の輪」 240名(230名) 2. 日本女性会議 日本女性会議2014札幌参加 5名(1名) 3. 委員交流・意見交換会 ①9月委員交流会・意見交換会 33名(31名) 「本音でかたる地域づくり」 アドバイザー 松村 良子氏 ※地域リーダー育成研修会として開催 ②1月委員交流会・意見交換会 26名(26名) 「私にできる一歩(本音でかたる地域づくり)」 ③3月委員交流会・意見交換会 32名(29名) 「みんなでやろう 地域づくり」 発表 藤田 佳世子(姪浜校区)・松岡 智恵子(玄洋校区) 4. 全体会 ①35名 ②32名(3月委員交流会終了後、同日開催) 5. 広報紙「なぎさ」 47号・48号(各号6600部)発行(45・46号は6500部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。 6. 男女共同参画推進奨励賞 受賞者:1団体と4名 (受賞者:1団体)</p>	<p>B</p>	<p>西) 振興課</p>

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 33 男性の家庭生活や地域活動への参画促進</b>				
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等  ☆アマカス講座		(具体的施策 30再掲) ○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。 ◆パパと子どものクッキング 全2回(全2回) 講師:横尾妙子(管理栄養士) 参加者数:延べ50人【男:36人,女14人】 〈延べ48人【男:34人,女14人】〉 ◆男性カレッジ 全4回(全4回) 講師:宮原礼智(NPOひとり親支援ネットワークふしぼしねっと代表)ほか 参加者数:延べ141人 〈延べ247人〉	A	市) 事業推進課
ソーシャルビジネス(SB)振興事業		○啓発事業 ・SBセミナー 参加者20名 ・現在のSB事業者数 128事業者<125事業者>  予 算 額 26年度予算額 - 25年度予算額 <5,033千円>	A	経) 創業・大学連携課
市民や企業と共働した子育て支援	平成26年度末までに、賛同企業・団体数を1500にする。	(具体的施策 28再掲) 子どもの健やかな成長を考える“きっかけ”となるよう、企業・団体に対して、“「い～な」ふくおか・子ども週間♡”賛同を呼びかけた。 ・平成27年3月末現在賛同数 954企業・団体 〈平成26年3月末賛同数 928企業・団体〉 ・働く人の認知度を向上するため、週間に合わせ、市営地下鉄駅構内で通勤時間帯に放送 ・“「い～な」ふくおか・子ども週間”ホームページに賛同企業・団体名及び取り組みを掲載するとともに、呼びかけ強化月間(8～10月)を設定し、市役所全庁に呼びかけ ・ノ一残業デーの実施 ・子ども参観日の実施(8月1日)	B	こ) 総務企画課
活力あるまちづくり支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	(具体的施策 9再掲) 活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。  補助金交付団体数 148団体(148団体) (うち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付)	A	市) コミュニティ推進課
公民館における男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの	公民館主催事業(男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの)実施館数の増加 18館	(具体的施策 32再掲) 公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。そのうち主に男性を対象としたもの。 公民館数 12館 〈11館〉 回数 30回 〈30回〉 参加人数 758人 〈663人〉	C	市) 公民館調整課



基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	(具体的施策 5再掲) ①定例会の開催(委員:27人) 定例会12回 ②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:270人<310人> 講演:「今どきの子育て世帯が地域を変える!？」 講師:小津 智一 氏 (NPOファザーリング・ジャパン九州代表理事) 演奏会:「スウィング・ストリート・ジャズ・オーケストラ」 ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:271人<370人> テーマ「DVとは そして私たちは」(3回シリーズ) 主催:東区生涯学習推進課 共催:東区企画振興課 協力:東区男女共同参画連絡協議会 ④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:55名<77人> 「ダンボールワークショップ」(地域で参加者を集めやすいイベント体験) 講師:吉田 忠 氏 , 杉山 拓人 氏 (NPOファザーリング・ジャパン九州) ⑤日本女性会議2014札幌(3名参加)<4人> ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会, 演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	(具体的施策 5再掲) ①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 ②男女共同参画講演会(研修会)(参加者64名) テーマ:地域活動における性別役割分担 内 容:寸劇とワークショップ 講 師:アマカス寸劇隊 対 象:校区男女共同参画委員, 自治協議会長, 公民館長・主事, まち館館長 ③日本女性会議への参加(参加者数7名) 分科会・全体会へ参加 ④第2回 男女協サミットへの参加 (各校区代表) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第4ブロック」(参加者74名) ⑥視察研修(参加者数:41名) 視察先:三潁郡大木町 講 師:農事組合法人モア・ハウス代表 大藪佐恵子氏 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り, 各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(17名)	B	博) 企画振興課  ※26年度は地域振興課

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・役員会(月1回程度)の開催 ・定例会(月1回程度)での情報交換 定例会での校区活動報告 区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計2人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画研修会の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:生涯学習・社会システム研究者 三浦 清一郎氏/参加者:75名)</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p>
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成26年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(5月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、11月、1月) 「介護」「防災」「コミュニケーション」など、身近なテーマから男女共同参画について考えるもの 講師による講話やグループワークを実施</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年7回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座【参加者数:36名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②25年度南区男女共同参画事業・活動報告書の作成【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(11回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「上手な男女共同参画の進め方 PART2」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:81名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 校区で男女共同参画を進めるための意識付けのため、区主催で講演会を行うもの。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:145名】 I 部 「日本女性会議2014札幌」参加報告 II 部 講演「笑って元気 家庭の絆・親子の絆。地域の絆」 ・講師: 矢野 大和氏(おおいた観光特使)</p> <p>③「日本女性会議2014札幌」への派遣 2名</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>早良区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>校区活動の活性化へつなげる活動の支援。  男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 ①早良公民館(Aブロック) 80名(91名) 講師 小ノ上 マン太郎 氏(NPO法人博多笑い塾理事長) テーマ「男と女 笑いでさずく参画社会 ～地域づくり、人づくりを考える～」 ②田隈公民館(Bブロック) 80名(62名) 講師 NPO法人福岡ジェンダー研究所 倉富 史枝 氏 テーマ サンカクいいね!～みんなで語る男女共同参画～ ③原西公民館(Cブロック) 80名(65名) 講師 日高 邦博 氏(主夫) テーマ「主婦と主夫、かなで書けば同じ『しゅふ』 ～思いやりとありがとうのある暮らし～」 ④室見公民館(Dブロック) 80名(71名) テーマ 身近なことで考えてみよう参画社会を アミカス寸劇隊による『息子夫婦・娘夫婦』&amp; ワークショップ 2. 日本女性会議2014札幌参加(委員4名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 第1回 80名(4名) テーマ「地域での男女共同参画の推進について ～事例紹介と情報交換会～」 講師 佐藤 倫子氏(ファシリテーター・Edu代表世話人) 第2回 60名(54名) テーマ「男女共同参画形成のために」 講師 柳 淑子氏 (リプロダクティブ・ヘルス/ライツと環境を考える会事務局長) 5. 早良区男女共同参画講演会 184名 「まじめに笑って考えよう! 男女共同参画で考える 地域と家庭と未来」 講師:瀬地山 角氏(東京大学大学院総合文化研究科 教授) 6. 早良区スポーツ&amp;フードフェスタ 「福岡マラソン2014」のファンランフィニッシュ地点で開かれた 「早良区スポーツ&amp;フードフェスタin百道浜」にて パネル展示を通して男女共同参画の啓発を行った。</p>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課</p>
<p>西区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。委員交流会・意見交換会やフェスティバルの開催及び広報紙を発行した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画推進奨励賞等を実施した。 1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2014 「かたり合い、笑顔でつなぐ 地域の輪」 240名(230名) 2. 日本女性会議 日本女性会議2014札幌参加 5名(1名) 3. 委員交流・意見交換会 ①9月委員交流会・意見交換会 33名(31名) 「本音でかたる地域づくり」 アドバイザー 松村 良子氏 ※地域リーダー育成研修会として開催 ②1月委員交流会・意見交換会 26名(26名) 「私にできる一歩(本音でかたる地域づくり)」 ③3月委員交流会・意見交換会 32名(29名) 「みんなでやろう 地域づくり」 発表 藤田 佳世子(姪浜校区)・松岡 智恵子(玄洋校区) 4. 全体会 ①35名 ②32名(3月委員交流会終了後、同日開催) 5. 広報紙「なぎさ」 47号・48号(各号6600部)発行(45・46号は6500部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。 6. 男女共同参画推進奨励賞 受賞者:1団体と4名(受賞者:1団体)</p>	<p>B</p>	<p>西) 振興課</p>

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 34 生活的自立のための学習機会の提供</b>				
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等  ☆アマカス講座		(具体的施策 30再掲) ○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。 ◆パパと子どものクッキング 全2回(全2回) 講師:横尾妙子(管理栄養士) 参加者数:延べ50人【男:36人,女14人】 〈延べ48人【男:34人,女14人】) ◆男性カレッジ 全4回(全4回) 講師:宮原礼智(NPOひとり親支援ネットワークふしぼしねっと代表)ほか 参加者数:延べ141人 〈延べ247人)	A	市) 事業推進課
公民館における男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの	公民館主催事業(男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの)実施館数の増加 18館	(具体的施策 32再掲) 公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。そのうち主に男性を対象としたもの。 公民館数 12館(11館) 回数 30回(30回) 参加人数 758人(663人)	C	市) 公民館調整課

### 施策の方向 3 子育て・介護支援の充実

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 35 多様なニーズに対応した子育て支援の充実</b>				
こどもショートステイ		保護者が病気などで家庭での養育が一時的に困難な子どもを、児童養護施設や乳児院で短期間預かるもの。  実施か所数 児童養護施設3, 乳児院2, 児童家庭支援センター1 実績 252人, 1,383日(248人, 1,265日)  予 算 額 26年度予算額 3,639千円 25年度予算額 (4,788千円)	A	こ) こども家庭課
病児・病後児デイケア事業		保育園等へ通っている子どもが病気のときで、保護者が仕事の都合などで看病できない場合に、病児デイケアルームで一時預かりを行うもの。  実施か所数 小児科医院18,合計18か所 延利用数 22,431人(22,789人)  予 算 額 26年度予算額 264,939千円 25年度予算額 (235,501千円)	A	こ) こども発達支援課

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
特別保育事業 (延長保育)	延長保育200か所 【平成26年度末】	保護者の就労形態の多様化や通勤時間の増加等によって、通常の午後6時までの開所時間を超過して保育を必要とする場合に、保育時間を延長するもの。  延長保育200か所(1~4時間)〈187か所〉	B	こ) 運営支援課  ※26年度は、 保育課
		予 算 額 (※予算額は全体予算) 26年度予算額 25年度予算額 962,845千円 〈837,742千円〉		
特別保育事業 (一時保育)	一時保育 継続実施	保護者の急病や仕事、リフレッシュなど、保育所に入所していない子どもについて一時的に保育が必要となる場合に、保育所で預かるもの。  一時保育30か所〈28か所〉	C	こ) 運営支援課  ※26年度は、 保育課
		予 算 額 (※予算額は全体予算) 26年度予算額 25年度予算額 962,845千円 〈837,742千円〉		
特別保育事業 (休日保育)	休日保育7か所 【平成26年度末】	保護者が日曜・休日に就労している場合に、市内の保育所に入所している子どもを、実施保育所で預かるもの。  休日保育5か所〈4か所〉	C	こ) 運営支援課  ※26年度は、 保育課
		予 算 額 (※予算額は全体予算) 26年度予算額 25年度予算額 962,845千円 〈837,742千円〉		
特別保育事業 (夜間保育)	夜間保育2か所 【平成26年度末】	保護者が夜間に就労している場合等に対応するため、保育所の開所時間を午後10時までとし、さらに深夜2時までの延長保育を行うもの。  夜間保育2か所〈2か所〉	A	こ) 運営支援課  ※26年度は、 保育課
		予 算 額 (※予算額は全体予算) 26年度予算額 25年度予算額 962,845千円 〈837,742千円〉		
特別保育事業 (特定保育)	特定保育7か所 【平成26年度末】	短時間勤務や隔日の勤務などで、週2、3回程度または午前か午後のみなどの保育を必要とする場合に、必要な日時について保育する。  特定保育17か所〈5か所〉	C	こ) 運営支援課  ※26年度は、 保育課
		予 算 額 (※予算額は全体予算) 26年度予算額 25年度予算額 962,845千円 〈837,742千円〉		
特別保育事業 (障がい児保育)	全保育所で受入 【平成26年度末】	全保育所で受入可	A	こ) 運営支援課  ※26年度は、 保育課
		予 算 額 (※予算額は全体予算) 26年度予算額 25年度予算額 962,845千円 〈837,742千円〉		

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
一時預かり事業	実施施設数8か所 (新・福岡市子ども総合計画)	保護者等が冠婚葬祭や通院、リフレッシュ等のために必要なときに、その養育する児童を一時的に預かることで、乳幼児の保護者の子育てに関する不安感・負担感を軽減し、虐待防止と児童の健全育成を図る。  実施施設数 7か所  予 算 額 <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>18,255千円</td> <td>&lt;10,527千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	18,255千円	<10,527千円>	A	こ) 事業企画課  ※26年度は、子育て支援課
26年度予算額	25年度予算額							
18,255千円	<10,527千円>							
ファミリーサポートセンター事業	会員数7,200人 (新・福岡市子ども総合計画、平成26年度末計画目標)	「子育てを応援して欲しい人」と「子育てを応援したい人」が地域の中で育児の相互援助活動を行う。 ・保育所・幼稚園・学童保育の迎え及び帰宅後の預かり ・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 ・子どもの習い事等の場合の援助 など ・会員登録数 依頼会員(子育てを応援して欲しい人) 5,503人 提供会員(子育てを応援したい人) 1,036人 両方会員(子育てを応援して欲しいし、応援もしたい人) 923人 合 計 7,462人  ・活動状況 16,722回  予 算 額 <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>23,742千円</td> <td>&lt;23,766千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	23,742千円	<23,766千円>	A	こ) 事業企画課  ※26年度は、子育て支援課
26年度予算額	25年度予算額							
23,742千円	<23,766千円>							
保育所の整備	保育所入所定員の増加	既存施設の増改築や新築の他、小規模保育事業の実施等、多様な手法により保育所整備を実施。 平成23年度:1,160人分の定員増 (平成24年4月1日保育所入所定員 26,264人) 平成24年度:1,400人分の定員増 (平成25年4月1日保育所入所定員 27,664人) 平成25年度:2,354人分の定員増 (平成26年4月1日保育所入所定員 30,018人) 平成26年度:1,962人分の定員増 (平成27年4月1日保育所入所定員 31,980人)  予 算 額 <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>4,191,375千円</td> <td>&lt;5,411,617千円&gt;</td> </tr> </table> ※25年度予算額は平成25年度12月補正及び2月補正後の予算額を含む	26年度予算額	25年度予算額	4,191,375千円	<5,411,617千円>	B	こ) 運営支援課 こ) 事業企画課  ※26年度は、保育課 子育て支援課
26年度予算額	25年度予算額							
4,191,375千円	<5,411,617千円>							
留守家庭子ども会事業	小学校内に設置した「留守家庭子ども会」等において、学年拡大に係る対象校・学年を順次拡大し、平成27年度当初までに、全施設での全学年受入を実施する。	放課後帰宅しても保護者が労働等で不在である家庭の児童を対象に「留守家庭子ども会」を設置し、児童の健全育成と子育て支援を行う。 設置校区 136か所(136校区)<140か所(138校区)> 平成20年9月から午後7時までの開設時間の延長を実施。 平成21年7月から4年生の長期休業中のみの受入れを実施。 平成22年4月から67校区において4年生の通年受入れを実施。 平成23年4月から24校区において4年生の通年受入れを実施。 また、22年度に4年生を受け入れた67校で5年生の通年受入を開始。 平成24年4月から24校区において4年生の通年受け入れを実施。また、23年度に4年生を受け入れた24校で5年生の通年受入を開始、5年生を受け入れた67校で全学年の通年受入を開始。 平成25年4月から4年生の通年受入を全校で実施。また、24年度に4年生を受け入れた24校で5年生の通年受入を開始、5年生を受け入れた67校で6年生の通年受入を開始。 平成26年4月から5年生の通年受入を全校で実施。また、25年度に5年生を受け入れた24校を含め、113校で6年生の通年受入を実施。  予 算 額 <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>2,341,206千円</td> <td>&lt;2,856,578千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	2,341,206千円	<2,856,578千円>	A	こ) 放課後こども育成課
26年度予算額	25年度予算額							
2,341,206千円	<2,856,578千円>							

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 36 子育てしやすい環境づくり</b>				
公民館における主催事業の実施(乳幼児ふれあい学級・子育てサポーター養成講座)	公民館主催事業(乳幼児ふれあい学級・子育てサポーター養成講座)実施館数の増加 160館	公民館主催事業のうち乳幼児ふれあい学級・子育てサポーター養成講座を実施。 公民館数 132館< 127館> 回数 1,269回< 1,247回> 参加人数 49,268人<48,702人>  予 算 額(予算額は全主催事業の予算) 26年度予算額 25年度予算額 54,332千円 <55,139千円>	B	市) 公民館調整課
地域子ども育成事業	地域の子どもの育む力の回復をめざして、地域の大人の意識変革、子どもを育む活動の活性化やネットワークの再生に取り組み、子どもたちを健やかに育む環境づくりを推進する。	○育みネット支援事業 地域の子どもの育むネットワークづくり支援。 ・117校区実施済<113校区> ○研修講師派遣事業 子どもを見守り育もうという意識の向上を図る目的などで開催される研修会に講師を派遣する。 ・23回派遣<29回派遣> ○遊びの達人 子どもの健全育成を推進する団体が開催する活動に講師を派遣する。 ・41回派遣<40回派遣>  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 50,671千円 <52,040千円>	B	こ) 青少年健全育成課
区青少年育成推進事業	地域・学校・関係機関と一体となり、非行防止・啓発事業等、地域に根ざした各種青少年育成事業を推進する。	○青少年を見守る店 青少年の初発型非行を防止するため、「愛の声かけ」等の活動を通じて地域ぐるみによる非行防止体制の強化を図る。 ・618店舗<579店舗> ○中学校校区青少年育成連絡協議会への助成 中学校区の範囲で街頭パトロールなどの非行防止活動を実施する協議会の活動費を助成する。 ・助成額68校区×75千円=5,100千円 ○少年愛護パトロール員 区長が委嘱するパトロール員が、それぞれの校区をパトロールする中で、地域社会の不良環境や健全育成上の阻害要因等を早期に発見してもらう。 ・924名委嘱<996名> ○立入調査 青少年にとって有害な環境を浄化するために、コンビニや書店への立ち入り調査を行い、指導を行う。 ・立入件数1,376件<1,317件>  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 47,541千円 <48,793千円>	B	こ) 青少年健全育成課
旅館・カラオケボックス規制指導	善良な風俗及び生活環境を保持し、青少年の健全な育成を図る。	○旅館等・カラオケボックス設置規制指導 旅館等やカラオケボックスを設置しようとする業者等に対して助言・指導を行う。 ・相談、協議回数30回<30回>  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 4,363千円 4,352千円	B	こ) 青少年健全育成課
地域子育て交流支援事業	延べ参加者数138,000人 (新・福岡市子ども総合計画、平成26年度末計画目標)	地域全体で乳幼児の子育てを支援する体制づくりを行い、地域の見守りのもと、公民館等を活用して、乳幼児親子が気軽に集える「子育て交流サロン」の開設や運営を支援する。 新設数 延べ154か所<延べ151か所> 参加者数 23年度 96,065人 24年度 88,520人 25年度 95,554人 26年度 88,395人  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 7,208千円 <7,611千円>	B	こ) 事業企画課 ※26年度は、子育て支援課



基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
子どもプラザ	設置数14か所 (新・福岡市子ども総合計画)	乳幼児親子がいつでも気軽に利用でき、子育てに関する相談や情報交換ができる子育て支援の拠点として、子どもプラザを開設し、地域で孤立しがちな親の子育て不安の軽減を図る。  設置数 14か所	A	こ) 事業企画課  ※26年度は、子育て支援課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>26年度予算額 161,239千円</td> <td>25年度予算額 &lt;161,148千円&gt;</td> </tr> </table>		
予 算 額				
26年度予算額 161,239千円	25年度予算額 <161,148千円>			
ファミリーサポートセンター事業	会員数7,200人 (新・福岡市子ども総合計画、平成26年度末計画目標)	(具体的施策 35再掲) 「子育てを応援して欲しい人」と「子育てを応援したい人」が地域の中で育児の相互援助活動を行う。 ・保育所・幼稚園・学童保育の迎え及び帰宅後の預かり ・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 ・子どもの習い事等の場合の援助 など ・会員登録数 依頼会員(子育てを応援して欲しい人) 5,503人 提供会員(子育てを応援したい人) 1,036人 両方会員(子育てを応援して欲しいし、応援もしたい人) 923人 合 計 7,462人  ・活動状況 16,722回	A	こ) 事業企画課  ※26年度は、子育て支援課
子育て支援に関する主催事業	子どもの育ちにとって、時間・空間・仲間が重要であり、それに関わる親・サポーター等が共に体得できる内容のものを実施していく。	○子育てふれあい広場「のびのび夢ひろばじょうなん」 子育てに関する活動をしている市民グループと福岡大学や中村学園大学等のボランティアスタッフと共働で実施した。 (実施日)平成26年9月7日(日) (参加者数)698人<H25は428名> ○子育て講座「乳幼児と大人のための外遊び講座」 子育て中の保護者はじめ大人たちが、日頃の子育てを見つめなおす機会として乳幼児と大人が共に外遊びの実体験をする講座を実施した。 (実施日)H26.5月～H26.11月 全5回開催 (参加者延べ数)179組<H25は6回開催145組>	B	城) 生涯学習推進課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>26年度予算額 424千円</td> <td>25年度予算額 &lt;424千円&gt;</td> </tr> </table>		
予 算 額				
26年度予算額 424千円	25年度予算額 <424千円>			

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
児童虐待防止事業	一時保護児、乳児院、児童養護施設入所児の1年以内での再統合ケース：80.0%	<p>児童虐待の未然防止、早期発見・対応、子どもや親のケア、再発防止などを行うもの。</p> <p>1 早期対応・相談体制の強化 児童福祉司等の専門性強化、法的対応機能強化事業の実施</p> <p>2 子どもや親への支援体制の強化 親の養育支援事業の実施</p> <p>3 関係機関とのネットワークの強化 区子育て支援課との連携強化</p> <p>※一時保護児、乳児院、児童養護施設入所児の1年以内での再統合ケースの実績 H26年度 75.6% ※当初値 62.2%(H14年度)</p>	B	こ) こども緊急支援課				
		<p>予 算 額 (※予算額のうち特定財源 1,362千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>13,645千円</td> <td>&lt;13,995千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	13,645千円	<13,995千円>		
26年度予算額	25年度予算額							
13,645千円	<13,995千円>							
区保健福祉センター家庭児童相談室における相談	身近な相談窓口としての機能を充実し迅速かつ的確な対応を目指す。	<p>(具体的施策 15再掲)</p> <p>婦人保護相談 延べ件数 6,201件&lt;5,449件&gt; 母子・父子自立相談 延べ件数 8,095件&lt;8,409件&gt; 家庭児童相談 延べ件数 17,458件&lt;14,702件&gt; うち、DV相談 延べ件数 3,121件&lt;2,894件&gt; (※婦人保護相談に含む)</p>	B	こ) こども家庭課				
街頭指導		<p>中学・高等学校教諭や民生委員・児童委員等に「子ども生活指導員」を委嘱し、市内の繁華街等(天神、JR博多駅など市内14か所)のゲームセンター、カラオケボックス、スーパー、デパート、商店街等の盛り場、公園など青少年のたまり場を重点として、街頭指導活動を実施した。</p> <p>街頭指導：実施回数 182回&lt;212回&gt; 従事人員 585人&lt;789人&gt; 指導人員 1,428人(478人)&lt;1,468人(534人)&gt; ※( )内は女子で内数。</p>	B	こ) こども相談課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>1,863千円</td> <td>&lt;2,433千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	1,863千円	<2,433千円>		
26年度予算額	25年度予算額							
1,863千円	<2,433千円>							
アミカスにおける託児の実施	安全で快適な託児を実施する。	<p>アミカスで行う講座・講演会において託児グループによる託児を実施した(18年度からアミカス主催講座については無料とした。)</p> <p>託児付き講座・講演会：36講座&lt;35講座&gt; 託児参加者数：1,005人&lt;787人&gt; 託児スタッフ延べ人数：906人&lt;615人&gt; 託児スタッフ登録人数：39人&lt;39人&gt;</p>	A	市) 事業推進課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>1,513千円</td> <td>&lt;1,854千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	1,513千円	<1,854千円>		
26年度予算額	25年度予算額							
1,513千円	<1,854千円>							
アミカスBOOKタイム	乳幼児を育てる保護者のリフレッシュを図る。	<p>託児付きで読書やビデオ鑑賞の機会を提供。</p> <p>6月～2月 全8回 参加者 84人 5月～12月 全8回 参加者93人</p>	B	市) 事業推進課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
市民や企業と共働した子育て支援	平成26年度末までに、賛同企業・団体数を1500にする。	<p>(具体的施策 28再掲)</p> <p>子どもの健やかな成長を考える“きっかけ”となるよう、企業・団体に対して、“「い～な」ふくおか・子ども週間♡”賛同を呼びかけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年3月末現在賛同数 954企業・団体 &lt;平成26年3月末賛同数 928企業・団体&gt;</li> <li>・働く人の認知度を向上するため、週間に合わせ、市営地下鉄駅構内で通勤時間帯に放送</li> <li>・“「い～な」ふくおか・子ども週間”ホームページに賛同企業・団体名及び取り組みを掲載するとともに、呼びかけ強化月間(8～10月)を設定し、市役所全庁に呼びかけ</li> <li>・ノ一残業デーの実施</li> <li>・子ども参観日の実施(8月1日)</li> </ul>	B	こ) 総務企画課				

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
留守家庭子ども会事業	小学校内に設置した「留守家庭子ども会」等において、学年拡大に係る対象校・学年を順次拡大し、平成27年度当初までに、全施設での全学年受入を実施する。	(具体的施策 35再掲) 放課後帰宅しても保護者が労働等で不在である家庭の児童を対象に「留守家庭子ども会」を設置し、児童の健全育成と子育て支援を行う。 設置校区 136か所(136校区)〈140か所(138校区)〉 平成20年9月から午後7時までの開設時間の延長を実施。 平成21年7月から4年生の長期休業中のみ受入れを実施。 平成22年4月から67校区において4年生の通年受入れを実施。 平成23年4月から24校区において4年生の通年受入れを実施。 また、22年度に4年生を受け入れた67校で5年生の通年受入を開始。 平成24年4月から24校区において4年生の通年受け入れを実施。また、23年度に4年生を受け入れた24校で5年生の通年受入を開始、5年生を受け入れた67校で全学年の通年受入を開始。 平成25年4月から4年生の通年受入を全校で実施。また、24年度に4年生を受け入れた24校で5年生の通年受入を開始、5年生を受け入れた67校で6年生の通年受入を開始。 平成26年4月から5年生の通年受入を全校で実施。また、25年度に5年生を受け入れた24校を含め、113校で6年生の通年受入を実施。	A	こ) こども育成課
こども総合相談センター総合相談事業		電話相談受理件数(全体) … 10,909件(10,389件) 面接相談受理件数(全体) … 4,171件(3,837件)  予 算 額 26年度予算額 427,824千円 25年度予算額 <461,785千円>	B	こ) こども支援課
バリアフリーのまちづくり推進		1. 福岡市バリアフリー基本計画の進行管理等 ・市民、事業者等で構成する協議会実施:1回<1回> 2. バリアフリー化推進の普及・啓発・育成 ①出前講座 ・実施回数:5回、参加人数:457名 〈実施回数:2回、参加人数:70名> ②市職員向け研修(参加人数) ・技術者研修:67名、体験研修:11名 〈技術者研修:32名、体験研修:10名>  予 算 額 26年度予算額 14,780千円 25年度予算額 <6,477千円>	A	保) 政策推進課
鉄道駅施設バリアフリー化促進事業	高齢者や障がいがある人をはじめ全ての公共交通利用者が安全且つ円滑に移動できるよう公共交通施設のバリアフリー化を推進する。	平成25年度実績:三苦駅エレベーター2基設置 平成26年度実績:JR下山門駅エレベーター3基設置  予 算 額 26年度予算額 63,333千円 25年度予算額 <33,333千円>	B	住都) 公共交通推進課
公共交通バリアフリー化促進事業(ノンステップバス)	高齢者や障がいがある人をはじめ全ての公共交通利用者が安全且つ円滑に移動できるよう公共交通施設のバリアフリー化を推進する。	平成25年度実績:ノンステップバス導入に対する補助(88台) 低位型券売機導入に対する補助(1台) 平成26年度実績:ノンステップバス導入に対する補助(86台) 低位型券売機導入に対する補助(1台)  予 算 額 26年度予算額 89,660千円 25年度予算額 <63,956千円>	A	住都) 公共交通推進課

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 37 介護支援の充実</b>				
介護保険事業	第5期介護保険事業計画の円滑な実施	要介護認定者数 58,979人(年度平均)〈56,229人〉 介護サービス利用者数 46,373人(年度平均)〈43,931人〉  予 算 額 26年度予算額 85,230,010千円 25年度予算額 〈80,899,683千円〉	A	(保) 介護福祉課
地域支援事業及び在宅高齢者福祉事業	高齢者が住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らし続けられるよう、地域における身近な総合相談機能の充実に努めるとともに、介護予防を推進し、自宅での自立支援や介護者の負担軽減を図る。	○地域支援事業 地域で生活する高齢者、その家族を支援するため、介護予防事業(高齢者が要介護状態になることを防ぐ)、包括的支援事業(地域包括支援センターが実施)、任意事業(高齢者が地域で自立した日常生活を送れるように支援)を実施する。 地域支援事業31事業(介護予防事業(9事業)、包括的支援事業(3事業)、任意事業(20事業))及び在宅福祉サービスの11事業を実施  <地域支援事業31事業(介護予防事業(9事業)、包括的支援事業(3事業)、任意事業(19事業))及び在宅福祉サービスの13事業を実施>  予 算 額 26年度予算額 920,131千円 25年度予算額 〈917,606千円〉	A	(保) 介護福祉課
地域包括支援センター事業	地域における高齢者の身近な相談体制充実を図る	○相談実績 実相談人数 27,686人〈27,941人〉 延相談人数 119,526人〈121,966人〉  予 算 額 26年度予算額 1,042,473千円 25年度予算額 〈1,011,414千円〉	A	(保) 地域包括ケア推進課
介護老人保健施設等建設費助成	第5期福岡市高齢者保健福祉計画(平成24年度から平成26年度)  介護老人保健施設平成26年度整備計画数 2,610人分	要介護高齢者の増加に対応するため、医療法人等が行う介護老人保健施設の整備に対して助成を行う。 26年度末現在 累計 27施設・定員2,627人〈27施設・定員2,627人〉  予 算 額 26年度予算額 - 25年度予算額 -	A	(保) 高齢者サービス支援課
ふれあいネットワークふれあいサロン	ふれあいネットワークは実施自治会数を、ふれあいサロンは実施箇所数を増やし、住民による地域保健福祉活動の充実を図る。	高齢者等を地域で支えるしくみづくりの推進をとおして、男女が共に仕事と家庭を両立できる環境づくりを図った。 ・ふれあいネットワーク 134校区〈129校区〉 1,725自治会数〈1,671自治会数〉 ・ふれあいサロン 141校区〈139校区〉 351箇所〈327箇所〉 ※平成26年度実績は12月末現在の数値  予 算 額 26年度予算額 40,582千円 25年度予算額 〈38,807千円〉	A	(保) 高齢社会政策課
特別養護老人ホーム等建設費助成	第5期福岡市高齢者保健福祉計画(平成24年度から平成26年度)  特別養護老人ホーム平成26年度整備計画数 5,100人分	要介護高齢者の増加に対応するため、社会福祉法人が行う特別養護老人ホーム等の整備に対して助成を行う。 26年度開設 4施設・定員329人〈5施設・定員401人〉 累計 70施設・定員5,126人〈66施設・定員4,797人〉  予 算 額 26年度予算額 1,330,277千円 25年度予算額 〈1,261,314千円〉	A	(保) 高齢者サービス支援課

施策の方向 4 ひとり親家庭への支援の充実

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 38 相談の充実</b>				
区保健福祉センター 家庭児童相談室に おける相談	身近な相談窓口としての機能を充実し迅速かつ的確な対応を目指す。	(具体的施策 15再掲) 婦人保護相談 延べ件数 6,201件< 5,449件> 母子・父子自立相談 延べ件数 8,095件< 8,409件> 家庭児童相談 延べ件数 17,458件<14,702件> うち、DV相談 延べ件数 3,121件< 2,894件> (※婦人保護相談に含む)	B	こ) こども家庭課
区家庭児童相談室 相談員研修	身近な相談窓口としての機能を充実し迅速かつ的確な対応を目指す。	本庁での業務研修や福岡県社会福祉協議会による社会福祉施設職員研修などの派遣研修を行っている。このうちDVについては、福岡県女性相談所でのスーパービジョン研修等に派遣している。  予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 - -	A	こ) こども家庭課
民生委員・児童委員、主任児童委員研修	社会奉仕の精神をもって相談、援助に当たり社会福祉の増進に努める民生委員・児童委員、主任児童委員の資質の向上を図る研修を毎年実施する。	○中堅研修(3回実施、参加者429人)<1回実施、参加者140人> ○幹部研修(1回実施、参加者189人)<1回実施、参加者186人> ○主任児童委員研修(1回実施、参加者193人)<台風により中止> ○専門部会研修(以下は市レベルの研修である。各区レベルでも全民生委員・児童委員を対象に別途、研修を実施している。)(10回実施、参加者のべ206人)<10回実施、参加者のべ209人>  予 算 額 26年度予算額 280,992千円 25年度予算額 <283,303千円>	B	保) 高齢社会政策課
アミカス相談室	日常生活の中で直面する様々な問題について相談員などが相談を受け、問題解決に向けて援助する。	(具体的施策 15再掲) (1)相談業務 ①総合相談(相談・面接) ②アミカスDV相談ダイヤル ③法律相談 ④男性のための相談ホットライン (2)講座などによる啓発活動 ①法律講座 年3回<4回> 参加者 延べ79名<76名> ②グループワーク 年2講座12回 参加者 延べ53人<60人> ③DV講座 2回<2回> 参加者14名<15名> ④自主グループ支援 11回<6回>31人<24人> (3)相談員の会議・研修 ①DV相談窓口の相談員連絡会議 1回<1回> ②事例検討・研修会 年5回<5回> <事業実績> ○相談件数 4,878件<4,210件> うち、DV相談 871件<796件>	B	市) 事業推進課
ひとり親家庭支援センター事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	ひとり親家庭等の福祉を増進するため、各種相談に応じるとともに、本市におけるひとり親家庭の自立・就業支援の中心施設として、他の相談機関等と連携しながら就業情報の提供や就業支援講習会等の事業を実施している。 利用者数9,886人<11,337人> ※平成26年4月1日から、「ひとり親家庭支援センター」に名称変更  予 算 額 26年度予算額 56,583千円 25年度予算額 <54,813千円>	A	こ) こども家庭課

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 39 ひとり親家庭の自立促進と生活の安定</b>				
母子家庭等日常生活支援事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	母子家庭、父子家庭及び寡婦の修学等の自立促進に必要な事由や疾病等の社会的な事由により、一時的に介護、保育等のサービスが必要なとき、家庭生活支援員を派遣して、必要な介護及び児童の保育を行うもの。 82時間<385時間>  予 算 額 26年度予算額 425千円 25年度予算額 <457千円>	A	こ) こども家庭課
ひとり親家庭支援センター事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	(具体的施策 38再掲) ひとり親家庭等の福祉を増進するため、各種相談に応じるとともに、本市におけるひとり親家庭の自立・就業支援の中心施設として、他の相談機関等と連携しながら就業情報の提供や就業支援講習会等の事業を実施している。 利用者数9,886人<11,337人> ※平成26年4月1日から、「ひとり親家庭支援センター」に名称変更	A	こ) こども家庭課
ひとり親家庭就業支援事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	○ひとり親家庭無料職業紹介事業 平成20年12月からひとり親家庭支援センター(旧母子福祉センター)にて無料職業紹介事業を実施 就職者数3名<4名>  ○自立支援プログラム策定事業 児童扶養手当受給者の自立を促進するため、個々の状況に応じた自立支援計画書(プログラム)を策定し、個別・継続的な自立・就労支援を行う。 就職者数40件<37件>  予 算 額 26年度予算額 3,778千円 25年度予算額 <3,673千円>	A	こ) こども家庭課
母子家庭等自立支援給付金事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	○自立支援教育訓練給付金事業 母子家庭の母又は父子家庭の父が能力開発のために資格等を取得する際、その受講料の2割(最高10万円)を支給。 ・支給件数 4件<5件>  ○高等職業訓練促進給付金事業 母子家庭の母又は父子家庭の父が看護師等の就職に結びつきやすい高度な資格を取得する際、月額100,000円(課税世帯は月額70,500円)の促進費を支給。 ・支給件数 81件<108件> また、修業後50,000円(課税世帯は25,000円)の修了一時金を支給。 ・支給件数 31件<41件>  予 算 額 26年度予算額 103,302千円 25年度予算額 <147,536千円>	A	こ) こども家庭課
市営住宅へのひとり親家庭優遇措置	市営住宅入居時の抽選倍率が、全体平均倍率よりもひとり親世帯の倍率を低い状態で維持する。	一般世帯と同じ住宅に申し込みを行うひとり親世帯に対し、抽選番号を一般世帯よりも多く割り振ることにより当選の確率を高くして配慮している。 申し込み回数が4回目(落選回数3回)までの人には1個、5回目以上(落選回数4回以上)の人には2個の抽選番号がプラスされる。  ○ ひとり親世帯の抽選倍率 14.56倍(全体平均 14.24倍)<14.68倍(全体平均 14.86倍)>  予 算 額 26年度予算額 - 25年度予算額 -	A	住都) 住宅管理課

# 基本目標 4

## 政策・方針決定過程に男女が共に参画できる社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	8	5	2	0

### 施策の方向 1 市の政策・方針決定過程への女性の参画促進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課																																																																					
<b>具体的施策 40 審議会等への女性の参画促進</b>																																																																									
審議会等委員女性参画のための事前協議	審議会等委員への女性の参画率を、平成27年度までに 35%  女性委員のいない審議会等の解消	○審議会等への女性の参画を促進するため、おおむね委嘱の3か月前までに委員の選任に際し、審議会等の所管課と男女共同参画課で事前協議を実施 ○女性の人材に関する情報提供  参画率: 29.8%(28.9%) 女性委員のいない審議会等の数: 全81のうち7(99のうち8)	C	市) 男女共同参画課																																																																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">26年度予算額</td> <td style="width: 50%;">25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額		26年度予算額	25年度予算額	-	-																																																															
予 算 額																																																																									
26年度予算額	25年度予算額																																																																								
-	-																																																																								
人材情報の提供	人材登録者数を300件以上にする。	(具体的施策 8再掲) 女性問題の視点から人材情報を収集し提供した。 人材情報の登録及びインターネット等による情報を提供。 登録数: 286件(286件) 提供件数: 24件(22件)、その他21件(13件) WEB検索については、教育委員会生涯学習課のホームページ「まなびアイふくおか」の人材バンクで検索可能。	B	市) 事業推進課																																																																					
<b>具体的施策 41 市役所における男女共同参画の推進</b>																																																																									
福岡市職員の人材育成・活性化プランに基づく男女共同参画の推進	○平成30年度までに、役付職員(係長級以上)に占める女性の割合を20%以上とする。 ○平成27年度までに、係長級職員への昇任候補者(総括主任級職員)のうち、30代の職員(行政事務職)における男女の割合を、同年代の職員全体の男女の割合と同等とする。	管理職の意識向上を図るための研修や、女性職員のチャレンジ支援に向けた派遣研修、メンター制度、出産・子育て期を踏まえた研修等の実施とともに、育成を重視した積極的な人事配置等の取組を行った。 また、福岡市役所においても、率先して女性職員の活躍を推進するため、外部アドバイザーを含む庁内プロジェクトチームを設置し、必要な施策を報告書にとりまとめ、実現可能なものから取組を行った。 ○役付職員(係長級以上)に占める女性の割合: 15.7% ○30代の総括主任級職員(行政事務職)における女性の割合: 46.6% 30代の職員全体(行政事務職)における女性の割合: 49.7%	C	総) 人材育成課																																																																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">H26</th> <th colspan="3">H25</th> </tr> <tr> <th>総数</th> <th>女性数</th> <th>女性の比率</th> <th>総数</th> <th>女性数</th> <th>女性の比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役職者総数</td> <td>2,849</td> <td>447</td> <td>15.7</td> <td>2,835</td> <td>396</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td>  局部長級</td> <td>195</td> <td>15</td> <td>7.7</td> <td>199</td> <td>17</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>  課長級</td> <td>589</td> <td>65</td> <td>11</td> <td>567</td> <td>48</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>  係長級</td> <td>2,065</td> <td>367</td> <td>17.8</td> <td>2,069</td> <td>331</td> <td>16.0</td> </tr> <tr> <td>  一般職員</td> <td>6,721</td> <td>2,346</td> <td>34.9</td> <td>6,798</td> <td>2,364</td> <td>34.8</td> </tr> <tr> <td>  30代職員</td> <td>1,043</td> <td>518</td> <td>49.7</td> <td>1,058</td> <td>526</td> <td>49.7</td> </tr> <tr> <td>  総括主任級(30代)</td> <td>354</td> <td>165</td> <td>46.6</td> <td>370</td> <td>155</td> <td>41.9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,570</td> <td>2,793</td> <td>29.2</td> <td>9,633</td> <td>2,760</td> <td>28.7</td> </tr> </tbody> </table>				H26			H25			総数	女性数	女性の比率	総数	女性数	女性の比率	役職者総数	2,849	447	15.7	2,835	396	14.0	局部長級	195	15	7.7	199	17	8.5	課長級	589	65	11	567	48	8.5	係長級	2,065	367	17.8	2,069	331	16.0	一般職員	6,721	2,346	34.9	6,798	2,364	34.8	30代職員	1,043	518	49.7	1,058	526	49.7	総括主任級(30代)	354	165	46.6	370	155	41.9	合計	9,570	2,793	29.2	9,633	2,760	28.7
						H26			H25																																																																
総数	女性数		女性の比率	総数	女性数	女性の比率																																																																			
役職者総数	2,849	447	15.7	2,835	396	14.0																																																																			
局部長級	195	15	7.7	199	17	8.5																																																																			
課長級	589	65	11	567	48	8.5																																																																			
係長級	2,065	367	17.8	2,069	331	16.0																																																																			
一般職員	6,721	2,346	34.9	6,798	2,364	34.8																																																																			
30代職員	1,043	518	49.7	1,058	526	49.7																																																																			
総括主任級(30代)	354	165	46.6	370	155	41.9																																																																			
合計	9,570	2,793	29.2	9,633	2,760	28.7																																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">26年度予算額</td> <td style="width: 50%;">25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	予 算 額		26年度予算額	25年度予算額	-	-																																																																			
予 算 額																																																																									
26年度予算額	25年度予算額																																																																								
-	-																																																																								

基本目標4 政策・方針決定過程に男女が共に参画できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
女性職員派遣研修・自治大学校派遣研修 ※25年度は、女性リーダー派遣研修・自治大学校派遣研修	市町村アカデミーや自治大学校などへ女性職員を派遣し、高度な行政知識や行政管理能力を習得することにより、本市の行政施策推進の中核となりうる人材を育成する。	<p>○ステップアップ自治体リーダー(旧 ブラッシュアップ女性リーダー)</p> <p>実施機関:市町村アカデミー 参加者:2名&lt;0名&gt;</p> <p>○女性リーダーのためのマネジメント研修</p> <p>実施機関:国際文化アカデミー 参加者:2名&lt;4名&gt;</p> <p>○シニアマネジャー研修</p> <p>実施機関:国際文化アカデミー 参加者:0名&lt;1名&gt;</p> <p>○事例とケースメソッドで学ぶ組織運営</p> <p>実施機関:国際文化アカデミー 参加者:1名&lt;1名&gt;</p> <p>○自治大学校(第1部特別課程)派遣研修</p> <p>実施機関:自治大学校 参加者:1名&lt;2名&gt;</p>	A	総) 人材育成課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>364千円</td> <td>&lt;364千円&gt;</td> </tr> </table>		
26年度予算額	25年度予算額			
364千円	<364千円>			
女性職員育成に関する研修	階層別研修において、女性職員の育成と能力活用に関する科目・内容を実施し、女性職員が能力を十分に発揮できる職場環境づくりを担う職員を育成する。	<p>○課長研修(1時間50分)</p> <p>科目名:「課長の役割と危機管理」</p> <p>対象者:課長級昇任者等</p> <p>内 容:所管課による講義</p> <p>受講者数 97名&lt;87名&gt;</p>	A	総) 人材育成課
		<table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		
26年度予算額	25年度予算額			
-	-			
福岡市特定事業主行動計画に基づく仕事と家庭の両立支援策の推進	仕事と家庭の両立支援のための意識啓発	<p>市職員への啓発(研修)の実施</p> <p>○両立支援に関する情報提供として「パパ・ママサポート通信」を発信 10回</p> <p>○人材育成課実施分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課長研修(昇任時) 97名&lt; 87名&gt;</li> <li>・係長研修 283名(242名)</li> <li>・新規採用職員研修 269名&lt;267名&gt;</li> </ul> <p>○男女共同参画課実施分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進担当者研修 9名&lt;8名&gt;</li> </ul>	B	総) 労務課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		
26年度予算額	25年度予算額			
-	-			



基本目標4 政策・方針決定過程に男女が共に参画できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
職員研修センターにおける男女共同参画研修	階層別研修において、男女共同参画の推進に関する科目・内容を実施し、市職員として男女共同参画社会の実現にむけて役割を担うことのできる職員を育成する。	<p>○階層別男女共同参画研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者:課長級昇任者等 97名&lt;87名&gt;</li> <li>科目名:「課長の役割と危機管理」</li> <li>内容:所管課による講義</li> </ul> <p>○階層別人権行政研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者:課長昇任2年目 77名&lt;76名&gt;</li> <li>係長昇任2年目 233名&lt;219名&gt;</li> <li>総括主任昇任者 200名&lt;199名&gt;</li> <li>主任昇任者 175名&lt;184名&gt;</li> <li>採用2年目職員 336名&lt;330名&gt;</li> <li>新規採用職員 351名&lt;332名&gt;※</li> <li>※中途採用, 社会人経験者を含む</li> <li>内容:グループ討議や参加型学習の事例の1つとして女性に関する問題を取り上げた。</li> </ul> <p>○人権行政係長研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者:係長級昇任者等 233名&lt;219名&gt;</li> <li>科目名:「男女共同参画は出来ている?」</li> <li>内容:所管課による講義</li> </ul>	A	総) 人材育成課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
男女共同参画推進協議会, 同幹事会	庁内の推進組織である協議会・幹事会において、本市の審議会等委員への女性の参画促進や、女性職員の登用促進についての全庁横断的な取組の実施について強く働きかける。	<p>○男女共同参画推進協議会1回実施&lt;1回&gt;</p> <p>議題:福岡市男女共同参画基本計画(第2次)の実施状況及び評価について</p> <p>○同幹事会2回実施&lt;2回&gt;</p> <p>(第1回)</p> <p>議題:「福岡市男女共同参画社会に関する意識調査」の結果について</p> <p>(第2回)</p> <p>議題:福岡市男女共同参画基本計画(第2次)の実施状況及び評価について</p>	A	市) 男女共同参画課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
人権啓発推進者研修		<p>班員:課長級職員7名&lt;7名&gt;/班別研修:5回&lt;5回&gt;</p> <p>※班員の自主運営のため、開催回数に定めはない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回:講演「男女共同参画社会の実現に向けて」(男女共同参画課長)</li> <li>・第2回:班員による討議</li> <li>・第3回:班員による討議</li> <li>・第4回:班員による討議</li> <li>・第5回:班員による討議</li> </ul>	A	市) 人権推進課				
		<p>予 算 額(※本研修全体の予算)</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>439千円</td> <td>&lt;425千円&gt;</td> </tr> </table>	26年度予算額	25年度予算額	439千円	<425千円>		
26年度予算額	25年度予算額							
439千円	<425千円>							

基本目標4 政策・方針決定過程に男女が共に参画できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
女性教職員の管理職登用の促進	幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の管理職(園長・校長・副校長・副園長・教頭)に占める女性管理職の割合を、現状より高めることをめざす。	<p>【事業実績】(平成27年度当初における任用実績)</p> <p>○校長(女性校長・園長数/全校長・園長数) 27年43名/223名・・・19.3%(26年40名/224名・・・17.9%)</p> <p>○教頭(女性副校長・教頭・副園長数/全教頭数) 27年42名/263名・・・16.0%(26年44名/261名・・・16.9%)</p> <p>○全管理職(女性管理職/全管理職) 27年85名/486名・・・17.5%(26年84名/487名・・・17.2%)</p> <p>※ 幼稚園7園のうち、小学校長が園長を兼務している園は3園、校長の小中兼務校は5校である。</p> <p>※ 教頭複数配置校(副校長を含む)は、平成26年度が小学校18校、中学校7校、高等学校4校である。平成27年度が小学校16校、中学校8校、高等学校4校である。</p> <p>また、学校規模により教頭を配置しない小学校は、平成26年度が3校、平成27年度も3校である。</p> <p>※ 特別支援学校の教頭複数配置校は、平成26年度、平成27年度ともに7校である。</p>	B	教委) 教職員課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		
26年度予算額	25年度予算額			
-	-			
男女共同参画推進担当者研修	男女共同参画についての理解を深める。	<p>男女共同参画推進担当者研修</p> <p>講師： フェリス女学院大学コミュニケーション学科教授 諸橋泰樹氏、 福岡市男女共同参画推進サポーター</p> <p>対象： 各区区政推進(地域支援)部職員 (企画振興課、地域振興課、地域支援課) 市民局男女共同参画部職員(事業推進課)</p> <p>参加者数：9名&lt;8名&gt;</p>	B	市) 男女共同参画課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>16千円</td> </tr> </table>		
26年度予算額	25年度予算額			
-	16千円			
ユニバーサル都市・福岡の推進	年齢、性別、能力、背景などに関わらず、すべての人にとって住みやすく、来てみたくなる、みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」の実現に向け、ユニバーサルデザインの考え方に対する市民の理解促進を図る。	<p>(具体的施策 8再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサル都市・福岡賞・表彰式の実施(平成26年10月26日)</li> <li>・ユニバーサル都市・福岡フェスティバルの実施(平成26年10月4日～平成26年10月26日)</li> <li>・NPOや大学等との連携による市民参加型イベントの実施(平成26年10月4日)</li> <li>・企業向けUDビジネスセミナーの実施(平成26年10月20日)</li> <li>・新聞・ラジオ(4回)による広報活動の実施</li> <li>・ホームページ・ソーシャルメディアの活用、出前講座の実施等(3回)</li> <li>・ユニバーサル都市・福岡デザインワークショップの実施(1回)</li> <li>・NPO等による取組みへの支援(事業費の4/5、上限40万)</li> <li>・小学校での出前授業・人文字プロモーションによる推進(1回)</li> <li>・児童向け教材の配布、活用(市内の新4年生全員に配布)</li> <li>・全庁におけるユニバーサル都市・福岡推進本部会議の開催(1回)、関係課長で構成する幹事会の開催(1回)</li> <li>・eラーニングの活用、新規採用職員への講師派遣等(2回)</li> </ul>	B	総) 企画調整部



## 基本目標 5 働く場において男女が対等に参画できる社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	19	8	0	0

### 施策の方向 1 男女の均等な機会と待遇確保

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
具体的施策 44 企業等への広報・啓発					
企業向け講演会  ☆アミカス講座		(具体的施策 42再掲) 働く女性の人権セミナー 「職場の安心感・安全感を取り戻すために ～カウンセラーから見た女性労働問題とハラスメント～」 ・講演: 高山直子(NPO法人サポートハウスじょむカウンセラー) 参加者数: 120人 共同主催: 福岡市企業同和問題推進協議会	A	市) 事業推進課	
社会貢献優良企業 優遇制度 (次世代育成・男女 共同参画支援事業 分)		(具体的施策 28再掲) 社会貢献度の高い地場企業に対して優先指名等の優遇措置を 行う社会貢献優良企業優遇制度の対象事業に「次世代育成・男 女共同参画支援事業」を設けている。  認定企業: 87社(73社) 認定期間: H25.8.1~H28.7.31	A	市) 男女共同参 画課	
在宅ワーク導入支 援事業	多様な働き方の一つと して導入が進みつつあ るテレワーク(在宅勤 務)を企業へ導入支援 する。	①相談員によるテレワーク導入診断 25社 (※電話による受講勧奨を含めると38社) 企業を訪問・ヒアリングし、導入が可能か診断 ②専門家による支援 5社 専門家が複数回にわたって訪問し、導入を支援 ③講演会の実施(ワーク・ライフ・バランス講演会と合同開催) ・テーマ 「社員が輝く! 会社も変わる! ダイバーシティと女性 活躍の経営戦略」 ・講師 イオン(株)ダイバーシティ推進室長 田中 咲氏 (株)テレワークマネジメント代表取締役 田澤 由利氏 ・日時 平成26年11月12日(水) ・場所 エルガーラ7階 中ホール ・主催 福岡市 ・参加者数 110名	B	市) 男女共同参 画課	
		予 算 額			
		26年度予算額 6,830千円	25年度予算額 -		

基本目標5 働く場において男女が対等に参画できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
女性活躍企業応援事業		①「女性リーダー育成研修」 (日程) 木曜コース 8/21～11/20 14:00～17:00 全10回 土曜コース 8/23～10/25 10:00～17:00 全5回 (場所) 福岡市男女共同参画推進センター・アミカス (対象者) 39社より派遣(受講者数:60名) ② 福岡ウーマンフェスタ2015 日程:平成27年3月28日 時間:13:00～16:30 場所:ANAクラウンプラザホテル福岡2階ウイステリア 参加者:170人 予 算 額 <table border="1" data-bbox="587 577 1209 645"> <tr> <td data-bbox="587 577 906 645">26年度予算額 8,221千円</td> <td data-bbox="906 577 1209 645">25年度予算額 -</td> </tr> </table>	26年度予算額 8,221千円	25年度予算額 -	B	市) 男女共同参画課
26年度予算額 8,221千円	25年度予算額 -					
<b>具体的施策 45 男女共同参画推進に取り組む企業の事例紹介</b>						
未実施						

施策の方向 2 働く女性への支援

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 46 働く女性への労働に関する広報と情報提供</b>				
市HPでの情報提供	関連部署とリンクさせるなど利便性を向上させ、市民が見やすく、分かり易いホームページとなるよう工夫する。	(具体的施策 8再掲) 本市の男女共同参画にかかる情報に関しては下記アドレスにて情報を発信している。  福岡市トップページ→生活情報→人権・男女共同参画  26年度の主な掲載内容 ・男女共同参画審議会 ・テレワーク(在宅勤務)導入支援事業 ・ワーク・ライフ・バランスセミナー受講企業募集 ・仕事と子育て両立応援セミナーの開催 ・「モデル校区地域リーダー育成塾」報告会の開催 ・社会貢献優良企業優遇制度の募集 ・男女共同参画推進協議会 ・男女共同参画審議会公募委員募集 等	A	市) 男女共同参画課
インターネットによる広報 (アマカスHP)	アクセス件数を250,000件以上にする。  メルマガ登録数を1,500件以上にする。	(具体的施策 8再掲) ○ホームページによる広報 ・男女共同参画推進センターの施設案内、事業概要、イベント、講座等の案内・募集、事業報告、アンケート集計等 ・調査研究報告書、図書情報、出版物の紹介 ・女性関連情報サイトへのリンク アクセス件数 187,108件<222,851件> ○メールマガジンの配信 メールマガジン登録者に男女共同参画推進センターの案内や男女共同参画の情報等を配信した。 登録数1,256件<登録数1,157件>	A	市) 事業推進課
女性のチャレンジ支援のための講座等		○女性リーダー育成研修 働く女性を対象に、次世代のリーダーとして活躍するために必要な知識を学ぶ連続講座。 土曜コース(全5回)、木曜コース(全10回) 参加者数:延べ392人  ○女性のためのスキルアップ研修 企業が派遣した女性社員を対象に、次世代リーダーとして活躍するために必要な知識を学ぶ連続講座。 参加者数:延べ104人(全5回)  ○講演会「フクオカ発！働くワタシの成長戦略★」 講師:大野祐子((株)ビジネスリファイン代表取締役社長) 参加者数:42人  ○キャリアアップセミナー 「ビジネスに必須のスキル！ 交渉力アップのためのコミュニケーション術」 講師:中野康子((株)NCBリサーチ&コンサルティング顧問) 参加者数:35人<延べ48人(全2回)>	A	市) 事業推進課
		予 算 額 (※働き女子のハピキャリア道場分)		
		26年度予算額 25年度予算額 1,104千円 1,187千円		
☆アマカス講座				
福岡市しごと情報HP		福岡市しごと情報ホームページを通して、求職者に対する相談窓口、講座、セミナー等の情報提供や関連する施策の掲載等を行い、多様な働き方を支援。  アクセス数(セッション数) 平成26年度:19,826件<13,456件>	A	経) 就労支援課
		予 算 額		
		26年度予算額 25年度予算額 108千円 -		

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
勤労者総合啓発事業	勤労者総合啓発誌「働くあなたのガイドブック」をできるだけ多くの窓口に配布し、労働関係の法令や助成制度、窓口の基礎知識の周知に努める。	<p>(具体的施策 19再掲)</p> <p>労働関係法令や雇用安定・創出のための助成制度、市内の雇用・労働に関する相談窓口等を掲載した勤労者総合啓発誌を作成し、市民をはじめ労働団体や企業等に配布することにより、勤労者の福祉の向上を図る。</p> <p>【平成26年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成部数:1,000部(増刷)</li> <li>・配布部数:2,625部</li> <li>・配布先:市関係施設、国・県の関係施設、短大など</li> </ul>	A	経) 就労支援課
<b>具体的施策 47 働く女性の能力開発のための研修の実施</b>				
女性のチャレンジ支援のための講座等		<p>(具体的施策 46再掲)</p> <p>○女性リーダー育成研修 働く女性を対象に、次世代のリーダーとして活躍するために必要な知識を学ぶ連続講座。 土曜コース(全5回)、木曜コース(全10回) 参加者数:延べ392人</p> <p>○女性のためのスキルアップ研修 企業が派遣した女性社員を対象に、次世代リーダーとして活躍するために必要な知識を学ぶ連続講座。 参加者数:延べ104人(全5回)</p> <p>○講演会「フクオカ発！働くワタシの成長戦略★」 講師:大野祐子((株)ビジネスリファイン代表取締役社長) 参加者数:42人</p> <p>○キャリアアップセミナー 「ビジネスに必須のスキル！ 交渉力アップのためのコミュニケーション術」 講師:中野康子((株)NCBリサーチ&amp;コンサルティング顧問) 参加者数:35人(延べ48人(全2回))</p>	A	市) 事業推進課
☆アミカス講座				
女性活躍企業応援事業		<p>(具体的施策 44再掲)</p> <p>①「女性リーダー育成研修」 (日程) 木曜コース 8/21～11/20 14:00～17:00 全10回 土曜コース 8/23～10/25 10:00～17:00 全5回 (場所) 福岡市男女共同参画推進センター・アミカス (対象者) 39社より派遣(受講者数:60名)</p> <p>② 福岡ウーマンフェスタ2015 日程:平成27年3月28日 時間:13:00～16:30 場所:ANAクラウンプラザホテル福岡2階ウイステリア 参加者:170人</p>	B	市) 男女共同参画課







1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
<b>具体的施策 51 女性の起業支援</b>						
女性のチャレンジ支援のための講座等  ☆アミカス講座		○女性の起業支援セミナー(全5日間) 講師:中川普巳重(中小企業診断士)ほか 参加者数:延べ183人(141人) 修了者数 34人(27人) ○HAPPY女子マーケット準備セミナー(全5回) 講師:清水麗子((株)グレイスクリエ代表取締役) 参加者数:延べ104人	A	市) 事業推進課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>26年度予算額</th> <th>25年度予算額</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
26年度予算額	25年度予算額					
-	-					
ソーシャルビジネス(SB)振興事業		(具体的施策 33再掲) ○啓発事業 ・SBセミナー 参加者20名 ・現在のSB事業者数 128事業者<125事業者>	A	経) 創業・大学連携課		
<b>具体的施策 52 再就職への支援</b>						
女性のチャレンジ支援のための講座等  ☆アミカス講座		お仕事再開プチサロン 全2回(全3回) 講師:成瀬穂美、齊藤南美(アミカス企画運営員) 参加者数 延べ14人(延べ28人)	B	市) 事業推進課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>26年度予算額</th> <th>25年度予算額</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
26年度予算額	25年度予算額					
-	-					
女性のチャレンジ支援のための講座等  ☆アミカス講座		女性の就職支援セミナー 実施回数9回(3回×3期) セミナー参加者 72人  セミナー参加者のうち、20人がシティハローワークみなみで個別相談を行い、19人の就職が決定した ※第3期については調査途中  共同主催:シティハローワークみなみ	A	市) 事業推進課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>26年度予算額</th> <th>25年度予算額</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
26年度予算額	25年度予算額					
-	-					
ソーシャルビジネス(SB)振興事業		(具体的施策 33再掲) ○啓発事業 ・SBセミナー 参加者20名 ・現在のSB事業者数 128事業者<125事業者>	A	経) 創業・大学連携課		
福岡市しごと情報HP		(具体的施策 46再掲) 福岡市しごと情報ホームページを通して、求職者に対する相談窓口、講座、セミナー等の情報提供や関連する施策の掲載等を行い、多様な働き方を支援。  アクセス数(セッション数) 平成26年度:19,826件<13,456件>	A	経) 就労支援課		

## 基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	4	25	1	0

### 施策の方向 1 地域における男女共同参画意識の浸透

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 53 地域の主体性を尊重した男女共同参画の推進</b>				
男女共同参画地域づくり事業	「みんなで参画ウィーク」の取組みが全校区で実施される。	○「みんなで参画ウィーク」及び「シンボルマーク」の広報・周知 （市政だより・ホームページへの掲載、ポスター、チラシ、マスクの配布等） ○コーディネーター派遣 10校区<12校区> ○モデル校区地域リーダー育成塾(2校区) ・アドバイザー派遣(各校区2名) 東区若宮校区 4回<5回> 城南区堤地区 4回<4回> ・報告会「モデル校区活動報告&講演『強くやさしい社会を実現するために～次世代へのメッセージ～』」 報告者：若宮校区男女共同参画推進会 堤地区男女共同参画部 講師：筑波大学大学院体育系准教授・柔道家 山口 香氏 参加人数：171名<163名>	B	市) 男女共同参画課
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">予 算 額</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">26年度予算額 1,880千円</td> <td style="width: 50%;">25年度予算額 &lt;2,344千円&gt;</td> </tr> </table>		
予 算 額				
26年度予算額 1,880千円	25年度予算額 <2,344千円>			
七区男女共同参画協議会による男女共同参画研修実施状況調査	すべての校区における男女共同参画研修の実施。	七区男女共同参画協議会として全校区男女共同参画協議会における研修の実施状況調査を行い、研修実施率の向上に取り組んだ。  男女共同参画研修実施率 96.6%<93.1%>	A	市) 男女共同参画課

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>①定例会の開催(委員:27人) 定例会12回</p> <p>②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:270人&lt;310人&gt; 講演:「今どきの子育て世帯が地域を変える!?!」 講師:小津 智一 氏 (NPOファザーリング・ジャパン九州代表理事) 演奏会:「スウィング・ストリート・ジャズ・オーケストラ」</p> <p>③男女共同参画社会づくり講座 参加者:271人&lt;370人&gt; テーマ「DVとは そして私たちは」(3回シリーズ) 主催:東区生涯学習推進課 共催:東区企画振興課 協力:東区男女共同参画連絡協議会</p> <p>④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:55名&lt;77人&gt; 「ダンボールワークショップ」(地域で参加者を集めやすいイベント体験) 講師:吉田 忠 氏 , 杉山 拓人 氏 (NPOファザーリング・ジャパン九州)</p> <p>⑤日本女性会議2014札幌(3名参加)&lt;4人&gt;</p> <p>⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会, 演舞台に参加)</p> <p>⑦筑紫少女苑 成人式に参列</p> <p>⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名</p>	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等</p> <p>②男女共同参画講演会(研修会)(参加者64名) テーマ:地域活動における性別役割分担 内 容:寸劇とワークショップ 講 師:アミカス寸劇隊 対 象:校区男女共同参画委員, 自治協議会長, 公民館長・主事, まち館館長</p> <p>③日本女性会議への参加(参加者数7名) 分科会・全体会へ参加</p> <p>④第2回 男女協サミットへの参加 (各校区代表)</p> <p>⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第4ブロック」(参加者74名)</p> <p>⑥視察研修(参加者数:41名) 視察先:三潁郡大木町 講 師:農事組合法人モア・ハウス代表 大藪佐恵子氏</p> <p>⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り, 各校区にて保有する。</p> <p>⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(17名)</p>	B	博) 企画振興課 ※26年度は 地域振興課

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・役員会(月1回程度)の開催 ・定例会(月1回程度)での情報交換 定例会での校区活動報告 区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計2人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画研修会の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:生涯学習・社会システム研究者 三浦 清一郎氏/参加者:75名)</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p>
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成26年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(5月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、11月、1月) 「介護」「防災」「コミュニケーション」など、身近なテーマから男女共同参画について考えるもの 講師による講話やグループワークを実施</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年7回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座【参加者数:36名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②25年度南区男女共同参画事業・活動報告書の作成【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(11回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「上手な男女共同参画の進め方 PART2」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:81名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 校区で男女共同参画を進めるための意識付けのため、区主催で講演会を行うもの。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:145名】 I部 「日本女性会議2014札幌」参加報告 II部 講演「笑って元気 家庭の絆・親子の絆。地域の絆」 ・講師: 矢野 大和氏(おおいた観光特使)</p> <p>③「日本女性会議2014札幌」への派遣 2名</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>早良区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>校区活動の活性化へつながる活動の支援。  男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 ①早良公民館(Aブロック) 80名(91名) 講師 小ノ上 マン太郎 氏(NPO法人博多笑い塾理事長) テーマ「男と女 笑いでさずく参画社会 ～地域づくり、人づくりを考える～」 ②田隈公民館(Bブロック) 80名(62名) 講師 NPO法人福岡ジェンダー研究所 倉富 史枝 氏 テーマ サンカクいいね!～みんなで語る男女共同参画～ ③原西公民館(Cブロック) 80名(65名) 講師 日高 邦博 氏(主夫) テーマ「主婦と主夫、かなで書けば同じ『しゅふ』 ～思いやりとありがとうのある暮らし～」 ④室見公民館(Dブロック) 80名(71名) テーマ 身近なことで考えてみよう参画社会を アミカス寸劇隊による『息子夫婦・娘夫婦』&amp;ワークショップ 2. 日本女性会議2014札幌参加(委員4名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 第1回 80名(4名) テーマ「地域での男女共同参画の推進について ～事例紹介と情報交換会～」 講師 佐藤 倫子氏(ファシリテーター・Edu代表世話人) 第2回 60名(54名) テーマ「男女共同参画形成のために」 講師 柳 淑子氏 (リプロダクティブ・ヘルス/ライツと環境を考える会事務局長) 5. 早良区男女共同参画講演会 184名 「まじめに笑って考えよう! 男女共同参画で考える 地域と家庭と未来」 講師:瀬地山 角氏(東京大学大学院総合文化研究科 教授) 6. 早良区スポーツ&amp;フードフェスタ 「福岡マラソン2014」のファンランフィニッシュ地点で開かれた 「早良区スポーツ&amp;フードフェスタin百道浜」にて パネル展示を通して男女共同参画の啓発を行った。</p>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課</p>
<p>西区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。委員交流会・意見交換会やフェスティバルの開催及び広報紙を発行した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画推進奨励賞等を実施した。  1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2014 「かたり合い、笑顔でつなぐ 地域の輪」 240名(230名)  2. 日本女性会議 日本女性会議2014札幌参加 5名(1名)  3. 委員交流・意見交換会 ①9月委員交流会・意見交換会 33名(31名) 「本音でかたる地域づくり」 アドバイザー 松村 良子氏 ※地域リーダー育成研修会として開催 ②1月委員交流会・意見交換会 26名(26名) 「私にできる一歩(本音でかたる地域づくり)」 ③3月委員交流会・意見交換会 32名(29名) 「みんなでやろう 地域づくり」 発表 藤田 佳世子(姪浜校区)・松岡 智恵子(玄洋校区)  4. 全体会 ①35名 ②32名(3月委員交流会終了後、同日開催)  5. 広報紙「なぎさ」 47号・48号(各号6600部)発行(45・46号は6500部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。  6. 男女共同参画推進奨励賞 受賞者:1団体と4名 (受賞者:1団体)</p>	<p>B</p>	<p>西) 振興課</p>

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 54 自治協議会等を中心とした男女共同参画意識の浸透</b>				
男女共同参画推進 サポーター派遣事業	年間派遣回数50回	(具体的施策 4再掲) ○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した29人と、前期より継続して登録した17人、合計46人(女性38人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 15回<12回> ・講座の受講者数 延べ716人<404人>  ○第5期男女共同参画推進サポーター養成講座 平成27年度から3年間、市民講師として派遣する第5期サポーターを養成するための講座を実施した。 全6回 参加者数 延べ68人 <男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座全2回 参加者数 延べ183人>	B	市) 事業推進課
活力あるまちづくり 支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	(具体的施策 9再掲) 活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。  補助金交付団体数 148団体<148団体> (うち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付)	A	市) コミュニティ推進課
出前講座	受講者の満足度の向上を図る。	(具体的施策 8再掲) 出前講座において男女共同参画社会基本法、男女共同参画を推進する条例等について説明を行った。  実施回数 6件<10件> 参加者数 165人<328人> 受講者の満足度 98.2%<91.6%>	B	市) 男女共同参画課
公民館館長・公民館 主事の研修	新任公民館職員研修及び7区の公民館運営研修等において、男女共同参画に係る研修を実施。	(具体的施策 2再掲) 公民館職員に対する男女共同参画に係る研修の実施 ア 新任公民館職員研修実績 26年度1回34人 <25年度1回32人>  イ 公民館運営研修実績 東区、博多区、早良区 各1回、計148人 <東区、博多区各1回、計99人>	B	市) 公民館調整課
公民館における男女 共同参画学習講座	公民館主催事業(男女共同参画講座)実施館数の増加。 60館	(具体的施策 6再掲) 公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。  公民館数 46館 < 49館 > 回数 184回 < 193回 > 参加人数 5,274人 < 5,485人 >	B	市) 公民館調整課



施策の方向 2 地域における男女共同参画推進活動の支援

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 55 男女共同参画協議会等の活動支援				
男女共同参画地域づくり事業	「みんなで参画ウィーク」の取組が全校区で実施される。	(具体的施策 53再掲) ○「みんなで参画ウィーク」及び「シンボルマーク」の広報・周知 (市政だより・ホームページへの掲載、ポスター、チラシ、マスクの配布等) ○コーディネーター派遣 10校区<12校区> ○モデル校区地域リーダー育成塾(2校区) ・アドバイザー派遣(各校区2名) 東区若宮校区 4回<5回> 城南区堤地区 4回<4回> ・報告会「モデル校区活動報告 & 講演『強くやさしい社会を実現するために～次世代へのメッセージ～』」 報告者: 若宮校区男女共同参画推進会 堤地区男女共同参画部 講 師: 筑波大学大学院体育系准教授・柔道家 山口 香氏 参加人数:171名<163名>	B	市) 男女共同参画課
出前講座	受講者の満足度の向上を図る。	(具体的施策 8再掲) 出前講座において男女共同参画社会基本法, 男女共同参画を推進する条例等について説明を行った。  実施回数 6件<10件> 参加者数 165人<328人> 受講者の満足度 98.2%<91.6%>	B	市) 男女共同参画課
出前講座		出前講座において寸劇等を体験してもらい、男女共同参画について学びの場を提供した。  実施回数 9件<22件> 参加者数 240人<898人>	B	市) 事業推進課

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	(具体的施策 5再掲) ①定例会の開催(委員:27人) 定例会12回 ②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:270人<310人> 講演:「今どきの子育て世帯が地域を変える!？」 講師:小津 智一 氏 (NPOファザーリング・ジャパン九州代表理事) 演奏会:「スウィング・ストリート・ジャズ・オーケストラ」 ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:271人<370人> テーマ「DVとは そして私たちは」(3回シリーズ) 主催:東区生涯学習推進課 共催:東区企画振興課 協力:東区男女共同参画連絡協議会 ④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:55名<77人> 「ダンボールワークショップ」(地域で参加者を集めやすいイベント体験) 講師:吉田 忠 氏 , 杉山 拓人 氏 (NPOファザーリング・ジャパン九州) ⑤日本女性会議2014札幌(3名参加)<4人> ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会, 演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	(具体的施策 5再掲) ①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 ②男女共同参画講演会(研修会)(参加者64名) テーマ:地域活動における性別役割分担 内 容:寸劇とワークショップ 講 師:アミカス寸劇隊 対 象:校区男女共同参画委員, 自治協議会長, 公民館長・主事, まち館館長 ③日本女性会議への参加(参加者数7名) 分科会・全体会へ参加 ④第2回 男女協サミットへの参加 (各校区代表) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第4ブロック」(参加者74名) ⑥視察研修(参加者数:41名) 視察先:三潁郡大木町 講 師:農事組合法人モア・ハウス代表 大藪佐恵子氏 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り, 各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(17名)	B	博) 企画振興課  ※26年度は地域振興課

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・役員会(月1回程度)の開催 ・定例会(月1回程度)での情報交換 定例会での校区活動報告 区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計2人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画研修会の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:生涯学習・社会システム研究者 三浦 清一郎氏/参加者:75名)</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p>
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成26年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(5月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、11月、1月) 「介護」「防災」「コミュニケーション」など、身近なテーマから男女共同参画について考えるもの 講師による講話やグループワークを実施</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年7回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座【参加者数:36名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②25年度南区男女共同参画事業・活動報告書の作成【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(11回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「上手な男女共同参画の進め方 PART2」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:81名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 校区で男女共同参画を進めるための意識付けのため、区主催で講演会を行うもの。 ・対象:各校区男女協委員, 自治協関係者, 公民館職員等 【参加人数:145名】 I 部 「日本女性会議2014札幌」参加報告 II 部 講演「笑って元気 家庭の絆・親子の絆。地域の絆」 ・講師: 矢野 大和氏(おおいた観光特使)</p> <p>③「日本女性会議2014札幌」への派遣 2名</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>早良区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>校区活動の活性化へつながる活動の支援。  男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 ①早良公民館(Aブロック) 80名(91名) 講師 小ノ上 マン太郎 氏(NPO法人博多笑い塾理事長) テーマ「男と女 笑いできずく参画社会 ～地域づくり、人づくりを考える～」 ②田隈公民館(Bブロック) 80名(62名) 講師 NPO法人福岡ジェンダー研究所 倉富 史枝 氏 テーマ サンカクいいね!～みんなで語る男女共同参画～ ③原西公民館(Cブロック) 80名(65名) 講師 日高 邦博 氏(主夫) テーマ「主婦と主夫、かなで書けば同じ『しゅふ』 ～思いやりとありがたうのある暮らし～」 ④室見公民館(Dブロック) 80名(71名) テーマ 身近なことで考えてみよう参画社会を アミカス寸劇隊による『息子夫婦・娘夫婦』&amp; ワークショップ 2. 日本女性会議2014札幌参加(委員4名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 第1回 80名(4名) テーマ「地域での男女共同参画の推進について ～事例紹介と情報交換会～」 講師 佐藤 倫子氏(ファシリテーター・Edu代表世話人) 第2回 60名(54名) テーマ「男女共同参画形成のために」 講師 柳 淑子氏 (リプロダクティブ・ヘルス/ライツと環境を考える会事務局長) 5. 早良区男女共同参画講演会 184名 「まじめに笑って考えよう! 男女共同参画で考える 地域と家庭と未来」 講師:瀬地山 角氏(東京大学大学院総合文化研究科 教授) 6. 早良区スポーツ&amp;フードフェスタ 「福岡マラソン2014」のファンランフィニッシュ地点で開かれた 「早良区スポーツ&amp;フードフェスタin百道浜」にて パネル展示を通して男女共同参画の啓発を行った。</p>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課</p>
<p>西区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。委員交流会・意見交換会やフェスティバルの開催及び広報紙を発行した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画推進奨励賞等を実施した。 1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2014 「かたり合い、笑顔でつなぐ 地域の輪」 240名(230名) 2. 日本女性会議 日本女性会議2014札幌参加 5名(1名) 3. 委員交流・意見交換会 ①9月委員交流会・意見交換会 33名(31名) 「本音でかたる地域づくり」 アドバイザー 松村 良子氏 ※地域リーダー育成研修会として開催 ②1月委員交流会・意見交換会 26名(26名) 「私にできる一歩(本音でかたる地域づくり)」 ③3月委員交流会・意見交換会 32名(29名) 「みんなでやろう 地域づくり」 発表 藤田 佳世子(姪浜校区)・松岡 智恵子(玄洋校区) 4. 全体会 ①35名 ②32名(3月委員交流会終了後、同日開催) 5. 広報紙「なぎさ」 47号・48号(各号6600部)発行(45・46号は6500部ずつ発行)年2回、9月・3月に発行している。 6. 男女共同参画推進奨励賞 受賞者:1団体と4名 (受賞者:1団体)</p>	<p>B</p>	<p>西) 振興課</p>

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
七区男女共同参画協議会活動支援	今後も区、校区活動の活性化を図る。	七区の男女共同参画協議会・連絡会の会長からなる代表者会議を年4回開催(4回) ・各区男女共同参画協議会・連絡会の活動等についての情報交換 ・各校区における男女共同参画に関する研修会実施状況調査1回(1回)	A	市) 男女共同参画課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>26年度予算額</td> <td>25年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
26年度予算額	25年度予算額					
-	-					
公民館長・公民館主事の研修	新任公民館職員研修及び7区の公民館運営研修等において、男女共同参画に係る研修を実施。	(具体的施策 2再掲) 公民館職員に対する男女共同参画に係る研修の実施 ア 新任公民館職員研修実績 26年度1回34人 (25年度1回32人)  イ 公民館運営研修実績 東区、博多区、早良区 各1回、計148人 (東区、博多区各1回、計99人)	B	市) 公民館調整課		
男女共同参画推進担当者研修	男女共同参画についての理解を深める。	(具体的施策41再掲) 男女共同参画推進担当者研修 講師： フェリス女学院大学コミュニケーション学科教授 諸橋泰樹氏、福岡市男女共同参画推進サポーター 対象： 各区区政推進(地域支援)部職員 (企画振興課、地域振興課、地域支援課) 市民局男女共同参画部職員(事業推進課) 参加者数：9名<8名>	B	市) 男女共同参画課		

施策の方向 3 地域活動の方針決定過程への女性の参画促進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
<b>具体的施策 56 自治協議会等への女性役員の参画促進</b>					
地域における諸団体の長等への就任率調査		合計 18.4% < 16.8% 自治協議会(自治連合会)(※) 2.0% < 2.0% 公民館長 21.9% < 19.2% 青少年育成連合会(※) 27.5% < 25.0% 交通安全推進委員会(※) 4.8% < 2.7% 体育振興会(※) 6.8% < 7.4% ごみ減量・リサイクル推進会議(※) 16.2% < 12.8% 人権尊重推進協議会(※) 13.7% < 10.3% 社会福祉協議会 27.6% < 24.1% 老人クラブ連合会 8.5% < 9.9% 子ども会育成連合会 45.7% < 43.4% 市立小学校PTA 7.0% < 5.5% 市立中学校PTA 2.9% < 5.8% 地区民生委員・児童委員協議会 67.3% < 65.7%	C	市) 男女共同参画課	
		※団体の名称は各校区により異なるため、一般的に使用されている名称を記載している(「自治連合会」は「自治協議会」未設立校区のみカウント)			
		予 算 額 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">26年度予算額</td> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>			26年度予算額
26年度予算額	25年度予算額				
-	-				
<b>具体的施策 57 地域の女性リーダー育成と活躍支援</b>					
男女共同参画地域づくり事業	「みんなで参画ウィーク」の取組みが全校区で実施される。	(具体的施策 53再掲) ○「みんなで参画ウィーク」及び「シンボルマーク」の広報・周知(市政だより・ホームページへの掲載、ポスター、チラシ、マスクの配布等) ○コーディネーター派遣 10校区<12校区> ○モデル校区地域リーダー育成塾(2校区) ・アドバイザー派遣(各校区2名) 東区若宮校区 4回<5回> 城南区堤地区 4回<4回> ・報告会「モデル校区活動報告&講演『強くやさしい社会を実現するために～次世代へのメッセージ～』」 報告者: 若宮校区男女共同参画推進会 堤地区男女共同参画部 講 師: 筑波大学大学院体育系准教授・柔道家 山口 香氏 参加人数: 171名<163名>	B	市) 男女共同参画課	
「地域における男女共同参画講座・講演会」支援事業	支援件数を50件以上にする。	(具体的施策 4再掲) 市民センターや公民館など地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会について、プログラム作成、講師紹介等のアドバイスをを行い支援を行った。  支援回数: 74件 < 54件> (内訳) プログラム作成 0件 < 0件> 講師紹介 48件 < 24件> アミカス寸劇隊派遣事業 17件 < 8件> 出前講座 9件 < 22件>	A	市) 事業推進課	